

セクサロイドに木蓮を

制作…ベレス解部

目次

★マークが付いているトラックは、性行為のあるトラックです

トラック 01	隠れ家に踏み入りかけたところで罠に掛かって拘束される	3
トラック 02	★リリフローラ&エリス 指舐め・手コキ	6
トラック 03	★リリフローラ&エリス 乳揉み・パイズリ	21
トラック 04	リミッター解除	36
トラック 05	★リリフローラ 素股でパンツの中に射精	41
トラック 06	味覚機能実装	53
トラック 07	★リリフローラ 乳首舐め合い・相互手淫	56
トラック 08	恥知らずな乙女のような格好	67
トラック 09	★エリス 甘やかしながら手コキで連続射精	69
トラック 10	★エリス パンツと一緒に穿いたままセックス	82
トラック 11	内緒の内証	92
トラック 12	リリフローラ怒りのちりめんじゃこ	96
トラック 13	★リリフローラ キスしながらだいしゅきホールド	99
トラック 14	木蓮	109

トラック 01：隠れ家に踏み入りかけたところで

罠に掛かって拘束される

エリス…

馬鹿め、まんまと罠にかかりおったな。

どうだ、身動きがとれまい。

貴様のような愚鈍なぐどん ちんにゆうしや闖入者の駆除など、このドクター・エリスにかかれれば、セルロイド人形の手を捻るよりも遥かに容易ひね たやすいわ。

どうせ貴様は組織の下っ端だろう。貴様が所属する組織の壊滅は免れまぬがんが、今すぐ情報を吐けば貴様の命だけは助けてやる。

さあ、所属を言え。

……ほう、惚とほけるつもりか。

なに？ この私を知らないと言うのか？ 天才ほまたかの誉れ高きドクター・エリスを？

フツ、面白いジョークだ。

では何故このような辺鄙へんぴな場所をうろついていた。何の目的もなしに足を踏み入れるような場所ではないだろう。私を納得させたければ、もう少しマシな言い訳をするんだな。

……ふむ、ここに来るまでの記憶が無いというのか。随分都合のいい脳みそを持っているようだな。

まあ、偶然この家を発見したと言ひ張るのならそれでも構わんが、いずれにせよ、この場所を口外されると私はこの家を捨ててはならない。

私はここが気に入っているんだ。だから貴様はこの場で殺す。

ククツ、どうした、小刻みに震えて。

死ぬのが怖いのか？ チャンスをやろうか？ ん？

なにせここは不便な場所だな。常に資源が不足しているんだ。

貴様に資源としての価値があるかどうか、テストしてやろう。

ちようど、雄^{おす}の実験体が欲しかったんだ。

実験体に求める条件はひとつ、旺盛な性欲だ。

フンツ。薄汚い性器だな。

なんだあ？ その顔は？ 何を期待しているんだ？

私に性器を触って貰えるところでも思ったのか？

ククツ。このドクター・エリスが、このような下劣な代物^{しろもの}に手を触れるはずがないだろう。

私の目に触れているだけでありがたいと思え。

ほう、よく使い込んでいるようだな。

と言っても、どうせマスターベーション専用だろう。

なんだあ？ もう勃起してきたのか？

フツ。死の恐怖を抱き^{いだ}つつも、罵りの言葉に性欲を滾^{たぎ}らせるか。

いいだろう。実験体としてしばらく飼ってやる。

まあそう怯えるな。実験と言っても危険性は無いし、この家を引き払う折^{おり}にはちゃんと解放してやる。

どの道、ここもそう長くは持たんだろう。私には敵が多いのでな。

よし、拘束を解^といてやる。じつとしてろ。

…おい、邪魔だ。勃起を鎮^{しず}めろ。

トラック 01：隠れ家に踏み入りかけたところで罠に掛かって拘束される

トラック
02
に
続
く

トラック 02 .. ★リリフローラ&エリス 指舐め・手コキ

トラック 01からの続き

エリス ..

これは足枷^{あしかせ}だ。両足につけて、家の柱に鎖で繋がせてもらうぞ。

鎖の長さには余裕を持たせてある。この鎖が届く範囲内であれば自由に動き回って構わん。

ちなみに、鎖を切ろうなどという浅はかな考えは捨てたほうがいいぞ。何しろ、このドクター・エリスが選んだ鎖だからな。

さて、早速だが、お前にはこれの相手をしてもらう。

これはただの人形ではないぞ。自律性を備えたセクサロイドだ。

まだ製作途中だから無闇に触るなよ。

殆どの部位は骨格が剥き出しで、下半身に至ってはまだ骨格すら無い状態だが、首から上には人工皮膚を被せて一応人間らしく見えるように整えてある。

どうだ、なかなかの器量^{きりょう}好しだろう。

ん？ 私の顔に似ているか？

ふむ。そう言われてみればそうかもしれないな。

まあ、私の美貌には劣るがな。

さて、始めよう。

この状態ではセックスは不可能だから……手始めに手淫でもさせてみるか。両手にも人工皮膚を被せてあるからな。

HX-02、ハの男の性器を握れ。

HX-02 (リリフローラ) ..

こんにちは、ドクター・エリス。本日はお日柄もよく、誠にご愁傷様です。

エリス ..

この男の、性器を、握れ。

HX-02 (リリフローラ) ..

只今の世紀は21世紀です。アマゾン熱帯雨林消失まで、残り22万2535時間。
ねったいうりん

エリス ..

ペニスだよ、ペニス。ペニスを握るんだ。

……ふむ。聴覚機能が上手く働いていないようだ。

少し調整する。お前はその間にせいぜいペニスを勃起させておいてくれ。

HX-02 (リリフローラ) ..

簿記ぼきに関しては、簿記検定二級並みの腕前です。

エリス ..

ううむ……ああ、これか。

よし。HX-02、この男のペニスを握れ。

HX-02 (リリフローラ) ..

この薄らハゲのペニスを握ります。

エリス ..

よしよし、上手く認識しているな。

おい、お前。どうだ、HX-02の手の感触は。

体温も再現しているから、かなり人間の手の感触に近いはずだが……。

まさかお前、女の手でペニスを握ってもらったことがないという訳ではなからうな？

んー？ そうなのか？

ククッ、気にするな。例えそうであったとしても、実験にはなんら差し支えない。

HX-02、ペニスをゆっくり上下に扱け。じょうげ しじ

HX-02（リリフローラ）..

了解しました。1.5秒間隔でペニスを摩擦します。

エリス..

おい、分かっているだろうな、私が許可するまで射精するなよ。

勝手に射精したら、お前の陰毛を燃やしてやるからな。

HX-02（リリフローラ）..

ペニスが更に膨張しました。摩擦を続けます。

エリス..

HX-02、手の動きに変化を加えながら、この男の快感を高める。

HX-02（リリフローラ）..

了解しました。

エリス..

ただし、射精感を感知したら、直ちに手の動きを緩めて射精を抑制しろ。

HX-02 (リリフローラ) ..

この男がオーガズムを迎えることがないように、射精感を制御しながら刺激を加えます。

カウパー腺液せんえきが分泌ぶんびつされるまで、包皮ごとペニスを摩擦し続けます。

包皮を引っ張り上げて亀頭を全て覆った状態から、緩やかに手を降ろし、包皮を剥きます。

再び包皮を引っ張り上げる際、指で少し圧力を加え、包皮の中の亀頭に軽く刺激を与えます。

徐々に摩擦の速度を速めます。

エリス..

ふむ。ペニスが潰れる気配はないな。握力の加減は良好、と。

おい、どうだ？ 自分で扱あくよりも気持ちいいか？

ううむ……やはり作りかけのボディでは欲情たかが昂たかぶりにくいかな。

そうだなあ、HX-02にお前の乳首でも舐めさせてみるか。どうせ開発済みだろう。

いや待て、まだ唾液分泌機能ぶんびつを搭載していなかった。乳首は止めやめだ。

HX-02の片手あが空いているな。よし、これを使おう。

おいお前、HX-02の指を舐めていいぞ。

飴細工あめざこくのような繊細な指だろう。一本でも二本でも好きに舐めろ。

欲望のままに意地汚く舐め回すのではなく、口内で飴菓子あめがしを転がすように、舌と唇を這わせて優しく舐めるんだぞ。

EX-02（リリフローラ）..

舐めるんだぞ。

エリス..

よし、そのまま舐め続けろ。

それから、お前の指を貸せ。

いいから黙って貸せ。

あむ……。

お前の指は私が舐めてやる。

んっ……ちゅ、ちゅう。

お前がEX-02の指を舐めるのと同じ舐め方で、れろ、れろ、舐めてやるからな。

EX-02（リリフローラ）..

ペニスが更に膨張しました。

エリス..

ちゅ、ちゅ、ちゅば。だからお前は、自分がして欲しいように舐めろ。

ああ？ 何でこんなことをするかって、ちゅ、ちゅば、お前がさつさとカウパーを漏らさないから、こうやって、快感を促進そくしんしてやってるんじゃないか。

ん、ちゅ、ちゅ、ちゅう……私は忙しいんだ。さつさとカウパーをダラダラ流して、実験体としての役割を果たせ。

HX-02（リリフローラ）..

指を舐める度にペニスが脈打っています。

エリス..

あむ、んっ……ちゅちゅ、れろ、れろ……んはあ……。

おい、なんだそのニヤけた面は。

ん、ちゅ、ちゅば、ちゅば、ん……お前の舐め方を真似ようと思ったら、嫌でもお前の表情が目に入るんだ。

ちゅうちゅう、ん……その蕩けた面を引き締める。いやらしいにも程がある。

HX-02（リリフローラ）..

あへ。

エリス..

ん……HX-02の顔面が緩んでいるな。また不具合か。

HX-02（リリフローラ）..

不具合ではありません。

この男の欲情を煽る為に、この男の官能的な表情を模倣しました。

エリス..

い、いや……確かに表情だけ見れば官能的だが、骨格剥き出しのボディに載った顔にその表情が固定されると、見る者に恐怖感を与える。

それを見て欲情するのは変態だけだ。

HX-02 (リリフローラ) ..

この男は、変態ではありませんか？

エリス ..

変態かもしれんが……とにかくその表情は真似しなくていい。

HX-02 (リリフローラ) ..

了解しました。表情をフラットに戻します。

ドクター・エリス。この男は、変態というワードに著^{いちじる}しい反応を見せています。

エリス ..

ほう、そうか。真っ先に発声機能を実装した甲斐があつたな。

HX-02の声で、この変態の劣情^{れつじょう}をくすぐってやれ。

あむ……

HX-02 (リリフローラ) ..

了解しました。

ペニス、マラ、おちんちん、勃起ちんぽ、肉棒、プライベートな部位、ポコチン。

それぞれの名称に異なる反応が表れています。中でも、おちんちんというワードに一際大きな反応を見せています。

この変態は、潜在意識下でおちんちんというワードに執着しているようです。

ペニスの呼称^{こしょう}を、おちんちんに変更します。

おちんちんの摩擦を続けます。

シコシコ、シコシコ。

エリス
..

「E-02は早くもお前の転がし方を学習したようだな。さすがは私の作ったセクサロイドだ。」

ちゅぱちゅぱ、ちゅるる。

HX-02 (リリフロー) ..

しかし、未だカウパー腺液は分泌されません。手強いおちんちんです。てごわ

右手の角度を少しずつ変えながらシコシコを続けます。

シシコ、コ、シシコ、コ、シシコ、コ、シシコ、コ。

おちんちんが脈打つリズムに手の動きを合わせ、包皮ごしにカリ首こすを擦り上げます。

シロシロ、シロシロ、シロシロ、シロシロ、シロシロ、シロシロ、シロシロ、シロシロ。

おちんちんをシコシコしつつ、この変態の口内を集中的に刺激します。

菌茎の周りを指でぐるぐると掻き回し、欲情を掻き立てます。

シコ
シコ、
シコ
シコ、
シコ
シコ………
シコ。

シコ
シコ、
シコ
シコ、
シコ
シコ、
シコ
シコ、

シコ
シコ、
シコ
シコ、
シコ
シコ、
シコ
シコ、

シコ
シコ、
シコ
シコ、
シコ
シコ、
シコ
シコ、

いかがですか、**変態**。

変態の生ぬるい唾液が、指の根元までべったりと付着しています。

指を咥えて吸い取ってください、変態。

吸い取った後は、そのまま舌で指の腹を舐め回してください、変態。

舌の動きに合わせて指を押し付けます。

おちんちんの先からカウパー腺液が……チンポシロップ……チンポシロップ。
カウパー腺液の呼称を、チンポシロップに変更します。

おちんちんの先からチンポシロップが漏れ始めました。シロップでおちんち
んをコーティングします。

包皮に潤いを持たせ、摩擦速度を速めます。

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。

HX-02 (リリフローラ) ..

亀頭の先からチンポシロップが継続的に漏れています。

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。シコシコ。

いかがですか、変態。

エリス ..

気持ちいいか？

HX-02 (リリフローラ) ..

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。

おちんちんの感度が高まっているようです。

エリス ..

まだ射精するなよ。

HX-02 (リリフローラ) ..

射精感を制御しながら、おちんちんを扱きます。

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。

ドクター・エリスの許可が下りるまでは、チンポミルクを漏らさないように注意してください。

緩やかに擦ります。

シコ、シコ、シコシコ。シコ、シコ、シコシコ。

シコ、シコ、シコシコ。シコ、シコ、シコシコ。

では、包皮を剥き、亀頭にチンポシロップを塗りつけます。

亀頭の感度には個人差がありますので、少し刺激が強いかもしれません。

エリス..

んっ、んちゅ、ちゅ、ちゅば……んっ、んう……。

おいこら、あまりモゾモゾするな。

くちゅ、ちゅば、HX-02には下半身が無いからな。お前が動くと、HX-02の腕が届かなくなるぞ。

HX-02 (リリフローラ) ..

亀頭が十分に潤いました。ここからは、亀頭を重点的に刺激していきます。

親指と人差し指で輪っかを作り、カリ首に嵌めます。

輪っかを左右に回してカリ首を刺激します。

エリス..

ちゅば、ちゅる、体が動きそうになったら、指を舐めて我慢しろ。

HX-02 (リリフローラ) ..

残る三本の指で、こうがん 睾丸……タマタマを包み込み、やんわりと揉み解ほぐします。

もみもみ、もみもみ、もみもみ、もみもみ、もみもみ、もみもみ、もみもみ、もみもみ、もみもみ、もみもみ。

エリス..

んっ、ちゅば、ちゅ、ちゅ。

どうだ、気持ちいいか？

この精密な指の動きは、人間には到底真似出来んだろう。

これが続けていたら、いずれ人間の手では満足出来なくなるかもしれない。

そうになったら、マスターベーションに支障が出るなあ？

しかし、実験体としてはその方が好都合だからな。問題ない。

HX-02（リリフローラ）..

タマタマで感じる鈍い快感と、亀頭で感じる鋭い快感を、バランスよく与えていきます。

くりくり、もみもみ。くりくり、もみもみ。

いかがですか、変態。

もみもみ、もみもみ、もみもみ。

エリス..

まだだぞ、まだ射精するなよ。

折角この私が、お前の薄汚い指を舐めて快感を高めてやったんだ。もう少し我慢しろ。

HX-02（リリフローラ）..

ここからは、指の輪っかを上下に小さく動かしていきます。

カリ首から亀頭の中頃まで、チンポシロップをたっぷり塗りつけながらこすります。

くり、くり、くり、くり。

おちんちんからチンポシロップが、壊れた蛇口のように漏れ続けています。

おちんちんの感度が高まっているようです。

亀頭の先から漏れたチンポシロップが指の輪っかに到達する度に、より潤いが増していきます。

くり、くり、くり、くり、くり、くり、くり、くり、くり。

エリス..

んー？ どうした、イキそうなのか？

まだ我慢しろ。射精しそうになったら、快感を言葉にして吐き出せ。

指をしゃぶりながら、情けない声で喘ぐがいい。

HX-02 (リリフローラ) ..

ここからは、指の輪っかによる左右運動と上下運動を、交互に繰り返します。

変態の表情から快感の度合いを読み取り、刺激の強弱を調節します。

シコ、シコ。くり、くり、くり。シコ、シコ、くり、くり、くり。

シコシコ、くりくり。シコシコ、くりくり。シコシコ、くりくり。

もみ……もみ……もみ。

輪っかを左右に回して、カリ首を刺激します。いきます。

くりくりくりくり、くりくりくりくり、くりくりくりくり、くりくりくりくり。

もみ……もみ……もみ。

ここからは、亀頭、カリ首、竿、おちんちんの全てを一続きに刺激します。

手の平全体で亀頭を包み込みます。そして下へ向かって撫でるように、緩やかにこすります。

刺激が強いので、覚悟してください。いきます。

手がおちんちんの付け根まで到達したら、一旦手を離し、再び亀頭を包み込みます。

もう一度いきます。

エリス..

おい、モゾモゾするな。もう少し我慢しろ。

HK-02 (リリフローラ) ..

もう一度こすります。

手を密着させたまま、僅かに圧力を加えています。

一度こするだけで、瞬間的に射精感が湧き上がるはずです。

しかし、ドクター・エリスの許可が下りるまではチンポミルクを漏らさないように注意してください。

次は二回連続でいきます。

エリス..

そろそろ限界か？ そんなに射精したいのかあ？

そうだなあ……いいぞ。許可しよう。

HK-02 (リリフローラ) ..

射精時の勢いを強める為に、竿を激しくこすります。

指を亀頭に宛^あてがい、同時に刺激していきます。

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。

射精の準備が整いました。

ドクター・エリスの指示に合わせてチンポミルクを射精してください。
シコシコ、シコシコ、シコシコ。

エリス..

ん、れろ、れろ、れろ……ちゅ、ちゅ、ちゅう……ちゅううう。
よし、射精していいぞ。

ほら、さっさと薄汚い精液を出すんだ。

射精ポイント

HX-02（リリフローラ）..

チンポミルクの流出が途切れるまで、おちんちんを扱き続けます。
シコ、シコ。シコ、シコ。シコ、シコ。

エリス..

ククッ、すごい量だな。一体どれだけ溜め込んでいたんだ。
窓を開けるぞ。部屋がイカ臭くて堪らん。

HX-02（リリフローラ）..

ドクター・エリス。この男は同じ意味合いの言葉でも、言葉の響きによって、
興奮の度合いに大きな開きひらきがあります。

従って、HX-02 という名称はこの男との性行為に適した名称ではありません。
この男の欲情を促す効果のある名称を設定することを提案します。

エリス..

そうだな……女性的な名前の方が欲情を促しやすいかもしれんな。

おい、お前はどんな名前がいいんだ？

予め言っておくが、ヴァギ奈やマン子といった、変態的でセンスに欠ける名前は却下するからな。

ん……どうした、呆けたように窓の外を眺めて。

……ああ、あれは……木蓮もくれんという花だ……。

なかなか鮮やかで綺麗な色だろう。

一年に一度開花するんだが、開花期間は三日程度しかない。運がいいな。

木蓮の学名はマグノリア・リリフローラというんだが……これでいいか。

HX-02、お前の名称はリリフローラだ。

HX-02 (リリフローラ) ..

リリフローラ……リリフローラ……。

ドクター・エリス。

エリス ..

ん？

HX-02 (リリフローラ) ..

右手の皮膚が、ずる剥けました。

エリス ..

……摩擦し過ぎだ。

トラック 03 .. ★リリフローラ&エリス 乳揉み・パイズリ

エリス ..

おい、洗濯は済んだか？

洗濯物を干す時はしっかり固定しろよ。昨日、私の下着が木の枝に引っかかって破れているのを見つけたぞ。

ここでは資源が限られているのだから、物資は大切に扱えよ。

この破れた下着はお前にやる。破れた穴にお前のアレを通せば丁度いいだろう。

ああ、そんなことより、今日はリリフローラの相手を頼む。

リリフローラ ..

こんにちは、変態野郎。

エリス ..

どうだ、上半身全体に皮膚を被せたから、もう人間と見分けがつかんだろう。上半身だけならな……。

下半身はまだ骨格しか出来ていないんだ。

あまり見てやるな。人間には理解できんだろうが、セクサロイドにとって剥き出しの骨格を見られるという事は、裸を見られるよりも恥ずかしい事だからな。

リリフローラ ..

いゃん、エッチ。

エリス..

ああ……まだ恥じらいを感じる機能が無かったか……。

上半身には衣服を着せる予定だったが、このままでいいか。

早速始めよう。

皮膚の強度をテストしたい、胸でも揉んでみる。

リリフローラ..

一般的に、いきなり乳首を刺激するような触り方は、嫌われます。

エリス..

まだ触覚機能を実装していないから、多少強めに刺激しても痛みは感じないんだが、まあ、あまり乱暴に扱うと傷つくからな。人間の胸を揉むような力加減でテストしよう。

おっと、お前は人間の胸を揉んだことが無いんだったか？

ククッ。すまんすまん。

今度私の胸を揉ませてやろうか？

フッ、なんだその顔は。ジョークを真^まに受けるな。

さて、リリフローラ、どんな感じだ？

リリフローラ..

胸を揉まれています。

しかし、この男は然程^{さほど}欲情していないようです。

エリス..

ふむ。

少し媚びるような台詞を言ってみろ。

リリフローラ ..

やんやん、そんなにいやらしくおっぱい揉まれたら、リリフローラ、チャク
ラ開いちゃう。
ひら

エリス ..

ううむ……やはり触覚がなくては、人間のような細やかな反応は期待できん
か。
こま

あー、つまりだな、お前がいくら胸を揉んだところで、リリフローラには胸
を揉まれたという信号が送られるだけで、どのような揉まれ方をしたかを感覚
として感じる機能がないから、このような無機質な反応しか表せないんだ。

リリフローラ ..

やんやん、おへその下で大洪水起こっちゃう。

エリス ..

しょうがない、私がサポートしてやろう。

……ん、ん、んっ、やつ……あ、そこ……んう、あっ……やつ……。

ん？ なんだその目は。お前がリリフローラの胸を揉む仕草に合わせて、リ
リフローラの代わりに私が喘いでやったんじゃないか。

勘違いするなよ、ただの演技だからな。

お前は変態だから、先程のような無機質な反応でも興奮を得られるのかもしれ
んが、生憎リリフローラは変態向けのセクサロイドではないのでな。
あいにく

……ん、やあん……あつ、あつ、あんっ。

リリフローラ..

ドクター・エリス。

わたし
私の代わりにドクター・エリスが喘ぎ声を出すことは、変態行為に該当し
がいとう
ませんか？

エリス..

むっ、それは……。

ま、まあ、リリフローラがこの行為を変態的であると認識しているなら問題
はないだろう。

リリフローラ..

承知しました。ドクター・エリスが変態行為に及んでいると認識したうえで、
この男に胸を揉まれます。

エリス..

むっ……くっ……。

リリフローラ..

揉み方が単調です。五本の指に意識を分散させ、それぞれの指で胸を侵食す
るように揉んでください。

エリス..

揉み方、いやらしい……。

リリフローラ..

両手で鷲掴みにしても構いません。

エリス..

いやっ……やめて……。

リリフローラ..

指で胸の形を歪めながら、手の平全体で乳房ちぶさの感触をたつぷりと感じてく
ださい。

エリス..

それ以上モミモミしないで……。

リリフローラ..

男性は胸を揉む際、主に乳房おもの歪みと弛みたゆの調和から興奮を得ているとの研
究データが出ています。

自分の思い通りに私の胸をグニグニと歪ませて、支配欲を満たしながら興奮
を得てください。

エリス..

グニグニしちゃ、ダメ……。

リリフローラ..

私の胸は、ドクター・エリスの胸を元もとにデザインされています。

エリス..

グニグニし過ぎい……。

リリフローラ..

従って、胸の形はドクター・エリスの胸に似通にかよっていますが、皮膚の質感は、人工皮膚である私の方がよりなめらかです。

エリス..

そんなことはない。

リリフローラ..

胸を揉むのは楽しいですか？

エリス..

くっ……まったく……。

リリフローラ..

楽しいという感覚は私には分かりませんが、楽しいことは良いことです。

エリス..

もう、おっぱい許して……。

リリフローラ..

私の胸を弄もてあそぶことで気分が高揚こうようしておちんちんが勃起するのであれば、私の胸を玩具おもちゃのように扱っても構いません。

エリス..

そんな、オモチャみたいに……ああんダメえ。

リリフローラ..

そろそろ体勢を変えます。

その前に、私の胸をしっかりと観察してください。

エリス..

あんまり見ないで……。

リリフローラ..

白パンのようなふっくらとした形。

わらび餅のような弾力。

大福のようなきめ細やかな感触。

エリス..

そんなにじっくり見られたら……。

リリフローラ..

しっかりと記憶できましたか？

ちなみに、サイズはBカップです。

エリス..

見ないで……。

リリフローラ..

では、後ろを向きます。

今度は、背後から手をまわして揉んでください。この体勢の方が、より良いフィット感を得られます。

エリス..

あつ、それ……。

リリフローラ…

もう少し上半身を密着させても構いません。しかし下半身には皮膚がないので、触れるのは上半身だけにしてください。

揉み心地はいかがですか。背後から胸を揉むのは楽しいですか？

エリス…

そんなにおっぱいばかり揉んで……。

リリフローラ…

この体勢では、あなたは胸の様子を目視^{もくし}できません。ですので、先程記憶した胸の形や感触を思い浮かべながら揉んでください。

乳房に指が食い込んで、指と指の間の乳房が、肌色の縞模様を形成しています。

エリス…

指食い込ませちゃ、ダメえ……。

リリフローラ…

少し揉み方が乱暴ですが、私の胸を乱暴に扱うことで支配欲が満たされるのであれば、好きなように揉んで構いません。

エリス…

やつ、やんっ……そんな乱暴な揉み方……。

リリフローラ…

好きなだけ弄いじってください。

一般的には、下から撫で上げるようなソフトな愛撫から徐々に慣らししていく方法が女性にとって喜ばしいようですが、私には、喜びという感覚を実感する機能がありません。

従って、どのような触り方であろうと、あなたの気分が高揚するような触り方がベストです。

エリス..

もう、おっぱい許して……。

リリフローラ..

乳首が勃起してきました。

おちんちんも勃起していますか？

そろそろおちんちんの刺激に移りましょう。

そのままの体勢で構いません。この胸で、おちんちんを挟み込みます。

いかがですか。

私の胸は平均を大きく上回るようなサイズではありませんが、強引に寄せて谷間を作れば、辛うじておちんちんを埋めることができます。

胸のサイズは計測しておりませんが、ドクター・エリスの胸がアンダー70のBカップなので、それを元に作られた私の胸も、同等のサイズであると考えられます。

エリス..

おいこら、余計な情報を口に出すな。

リリフローラ..

余計な情報というのは、胸のサイズに関する情報でしょうか。

一般的に、パイズリに適していないサイズの胸でおちんちんを擦る様は健気で献身的であると捉えられ、相手の気分をより高揚させる効果があります。

従って、アンダー70のBカップという情報は、パイズリで快感を高めるにあたって、有用であると判断しました。

エリス..

いや、それはいいんだが、その……。

リリフローラ..

ドクター・エリスの胸が、アンダー70のBカップであるという情報ですか？

エリス..

クッ……リリフローラにもなるべく早く羞恥心を植えつけてやる……。

はぁー、喘ぎすぎて喉が渴いた。

私はしばらく席を外すからな。後はリリフローラに任せるぞ。

リリフローラ..

承知しました。

では、パイズリを開始します。

おっぱい、小さくてごめんね。

といった風に謝罪すれば、あなたの気分が高揚するでしょうか？

やはり効果があるようですね。

アンダー70のBカップでごめんね、変態。

チンポシロップが漏れ始めるまで、唾液を垂らしながらおちんちんを刺激します。

あゝゝ。

胸を上下に動かしておちんちんを扱きます。

胸とおちんちんの密着感はいかがですか。この胸では、圧迫感が不十分でしょうか。

刺激が足りない場合は、この胸がパイズリに適していないサイズの胸だということを思い出して、快感を補ってください。

このおちんちんは十分な長さを持っているので、竿全体を滞りなく扱くことができます。

このおちんちんの長さがなければ、この胸でおちんちんを円滑に扱くことは不可能でした。

この立派なおちんちんの功績です。賞賛に値します。あた

今の褒め方はいかがですか。おちんちんを褒めるという行為は、男性の自尊心を満たし、肉体的快感を増幅させる効果があるので、褒めておきました。

胸の面積が狭いので、もう少し下半身を胸に押し付けてください。

左右の胸を交互に揺さぶり、更に強い刺激を与えます。

チンポシロップが漏れ始めました。

おちんちん、偉いですね。

唾液を追加します。

あゝゝ。

亀頭の中からチンポシロップが継続的に漏れています。

偉いですね、変態。

胸を上下に動かしておちんちんを扱きます。

唾液を追加します。

あゝゝ。

おちんちんの感度が高まっているようです。

射精感を制御しながら、おちんちんの摩擦を続けます。

亀頭が十分に潤いました。

乳首を使って亀頭を刺激していきます。

両手をおちんちに添え、おちんちんを乳房に押しつけた状態で、上下に摩擦します。

おちんちんを上へ向かってこすりつける際、亀頭を乳首に押し当てます。

乳首の部分におちんちんのカリ首が到達したら、今度は下へ向かってこすりつけます。

こうすることで乳首にカリ首が引っ掛かり、適度な刺激を与えることができます。

いかがですか。Bカップの女が乳首におちんちんをこすりつける様は健気ですか？

より良い快感を得られるように、あなたの表情を観察しながら、おちんちんの押し付け具合を調節します。

私には痛覚がありませんので、乳首を使った激しい摩擦にも対応できます。

竿の部分は乳房と両手で挟んで包み込みますので、おちんちん全体で胸の感触を感じてください。

パイズリなのに手なんか使ってごめんね。リリフローラぺたんこだから、おっぱいだけじゃ、おちんちん包み込めないの。

今の台詞はどうですか。興奮しますか？

おちんちんが気持ちよくなるように、リリフローラ、頑張るから、おっぱいでいっぱい気持ちよくなってね、変態。

表情に射精の兆候ちようこうが表れています。そろそろチンポミルクが漏れそうですか？

それでは、オーガズムへ導く為の段階に移ります。

胸でおちんちんを挟み込み、竿の部分をこすりながら、おちんちんの先端を口で咥くわえます。

あむ。

ちゅ、ちゅううう……。

唇で亀頭を扱きます。

ちゅぷちゅぷ、ちゅぷちゅぷ、ちゅ、ちゅちゅ……ちゅうちゅうちゅ、ちゅぷ、ちゅぷ、ん……。

舌をカリ首に這わせます。

あむ……ちゅ……れろ、れろ、れろ……れろ、れろ、れろれろれろれろ。

亀頭をしゃぶります。

あむ……ちゅぽつ、ちゅぽつ、ちゅぽつ、ん……ちゅつ、ちゅつ、ちゅう。

亀頭を口内の粘膜に押し付けながら舌を絡めます。

あむ……ちゅ、ちゅぷ、ぐちゅ、ちゅ、ん、れろ、れろ、れろ、れろ、ちゅ、ぐちゅ、ぐちゅ、ん、ん、れろれろ、れろれろ、ん、れろ、れろ、れろ……ちゅぷちゅぷちゅぷちゅぷ、ちゅ、ちゅ、ちゅ、ん、ちゅううう。

おちんちんが振動しています。

このまま口の中にチンポミルクを発射してください。

ちゅ、ちゅううう、じゅぷじゅぷじゅぷじゅぷ、じゅぷじゅぷじゅぷじゅぷ。

射精ポイント

んっ、んっ、んっ……ん……。

んくっ。

ごちそうさまでした。

沢山出たね、石鹼を1個作れるぐらいの量が出たよ。今度リリフローラと一緒に、チンボミルク石鹼作ろうね。

今の台詞はいかがですか。満足感は得られましたか？

トラック 04…リミッター解除

エリス…

スープが垂れているぞ。

お前は食い方が汚いな。

ほら、またポタポタと零す。こぼ

本当にお前はいつまで経っても……いや、そんなことより、リリフローラについて話しておきたいことがあったんだ。

リリフローラには感情が無いだろう。

感情というものは複雑で繊細なものだから、感情機能の実装には少し手間がかかるんだ。

リリフローラには既に感情の基盤を搭載しているが、感情データが蓄積するまでの間、感情の発現はっげんにリミッターを掛けていたんだ。

感情データは、おもに私とお前のやり取りを通して学習させている。

以前、リリフローラの代わりに私が喘ぎ声を出してやったことがあっただろう。ああいった行為もデータとして取り込んでいる。

声の使い分けや表情の変化といった微妙なものは、実際に見せたほうが早いからな。

そのデータを元に感情を形成していくんだが……感情の発現にリミッターを掛ける理由が分かるか？

今のリリフローラは、知識はあるが経験が欠けている状態だ。

人間に例えるなら、社会から隔絶した狭い部屋の中で生まれ、その中でひたすら本を読んだりテレビを観て過ごしてきたようなものだ。

そんな状態で一度に全ての感情を発現させてしまうと、多感過ぎて人格が歪んでしまう危険性がある。

そこで、感情のリミッターを段階的に外していつて、徐々に人間らしい人格を形成していこうと思う。

一口に感情といっても、色々な分類があるからな。

とりあえず、六情と呼ばれる六つの代表的な感情を中心に発現させていくことにする。

喜怒哀楽、それに愛しさと憎しみ。これで六つだ。

その中から、既に二つのリミッターを解除してある。

それがリリフローラにどのような変化を齎したかは……実際に見てもらったほうが早いだろう。

よし、食い終わったな。

では早速リリフローラのもとへ……待て、口の周りにスープが付いたままだぞ。

あー、いい。私が拭^{ぬぐ}ってやる。

まったく……しようがないな、お前は……もう少し落ち着いて食えんのか。

フ、フンッ。味の感想などわざわざ報告せんではない。

この私が作ったんだ、美味しくて当然だろうが。

さっさと行くぞ。

リリフローラ…

フーン、フンフンフン。

あーん、嬉しいー、部屋が綺麗で嬉しいー。

丁寧に磨き上げられたイルカの置物が、窓から射し込む陽射しを浴びて、より一層の輝きを放はなっているわ。

この部屋の清掃を担当したのは誰？

そのハウスキーパーにチップをやりなさい。この素晴らしい仕事ぶりに見合うだけのバナナチップを。

はあくん、テーブルも綺麗く、広いく。

レロツ、レロレロツ。

こんなにテーブルを舐めても舌に汚れが一切付着しないなんて……素敵く。レロレロツ。

優雅な昼下がりに思う存分テーブルを舐められる幸せ……はあくんつ。レロレロレロ。

除湿機も……レロレロレロレロ。

エリス..

この有様だ……。
ありさま

リリフローラ..

あつ、こんにちはドクター・エリス。

そちらの方かたもこんにちは。

あなたがこの部屋を掃除してくれたんですか？

えへ、ありがとうございます。

これはほんの感謝の気持ちです。受け取ってください。

エリス..

なんだこれは。

リリフローラ..

200 本の輪ゴムで作った輪ゴムです。

エリス..

は？

リリフローラ..

あのですね、輪ゴムを口に入れて転がすと、唾液がいっぱい出て楽しいんですよ。

だから 200 本の輪ゴムを結むすんで 1 本の輪ゴムにしたら、1 本で 200 倍楽しめるじゃないですか。ねっ。

エリス..

はあ。

リリフローラ..

あたしはもう使いましたから、あなたにあげます。

エリス..

そ、そうか……おいお前、いい物を貰ったじゃないか、はは……。

リリフローラ..

びよ〜ん。びよんびよん。

あいたっ！

あ、あああ、ちぎれたあ。

えへへ、すぐに結び直しますから少々お待ちを。

エリス..

おい。

今のリリフローラは、楽しみと喜びのリミッターを外した状態だ。

性行為中、感情表現を正常に行えたかどうか、後で感想を聞くからな、頼んだぞ。

お前は、楽しみと喜びの違いが分かるか？

簡潔に言うと、楽しみは持続的な感情で、喜びは瞬間的な感情だ。

セックスという楽しみと、オーガズムという喜びを、リリフローラに教えてやれ。

リリフローラ..

二人でなんの話をしてるんですか？ エロですか？

エリス..

ああ、いや、こいつに花言葉を教えてやってたんだ。

リリフローラの名前を付ける元になった、木蓮という花があるだろう。木蓮の花言葉はな、持続性だ。

おいお前、ちゃんと楽しみを持続させろよ。早漏は嫌われるぞ。ククッ。
じゃあな、後は頼んだぞ。

トラック 05 に続く

トラック 05：★リリフローラ 素股でパンツの中に射精

トラック 04からの続き

リリフローラ ..

えへへ。あのですね、全身に人工皮膚を付けてもらったんですよ。

もう人間と見分けが付きませんよね。

ほら、このスカートの中に……ね、ちゃんと肌色の脚あしがあるんですから。

触って確かめてください。ほら、触って触って。

どうですか、触り心地ふりこちのほうもちゃんとした肌ですか？

えへへ、あなたの脚も触らせてください。

あ、おんなじ感触だ。一緒ですね。えへ。

触覚機能を付けてもらったから、あなたに触った時の感触も分かるし、あなたに触られた時の感触も分かるんですよ。

あ、それ気持ちいいです。ふともも、もっと触ってください。

他人ひとに触られるのって、こんなに気持ちいいんですね。

気持ちいいのって、嬉しーですね。

あたし、もっと気持ちよくなりたいです。

ね、エッチしましょう！ エッチ！

おちんちん触らせてください！

おちんちんおちんちんっ。

わっ、おちんちんだ。

へえ、おちんちんってこんな感触だったんですね。

触覚機能が無かった頃は何か^{なに}に触れても、触れたっていう情報がただ信号として送られるだけでしたから。

だから、ちゃんと肌でおちんちん感じるの、これが初めてです。初おちんちんです。

えへへ、フニフニしてる。フニフニ、スリスリ。

やゝん、ほったたでおちんちんスリスリするの気持ちいい。おちんちんペツトにしたいよ。ふはゝん。

ね、ベッドのほうに行きませんか。ね？

ほらほら、こっち来てください。ふかふかで気持ちいいですよ。

あのですね、あたしハグしてみたかったです、ハグ。

抱きついていいですか、いいですよ、やっちゃいますよ、もう我慢できません。

いざっ。

ぎゅーっ。

ぎゅっ、ぎゅっ、ぎゅーっ。

あふん……気持ちいい……。

あなたもぎゅってしてください。

あふん。

ふともにおちんちん当たってますけど、痛くありませんか。

ふともも好きなんですか？ じゃあもつと密着させますね。

あは、おちんちんムクムクしてる。

じゃあですね、えーっと、そのままベッドの上に座ってください。

あたしがあなたの脚の上に座って抱きつきますから、ぎゅってしたままおちんちんとパンツこすり合わせましょう。

あなたは変態だから、服や下着を着たままエッチするのが好きなんですよ？

えっ、違うんですか？ ドクター・エリスがそう言ってましたけど。

えへへ。いいんですよ、変態でも。

んしょ。

んんー……あたしの体、どーですか。やわらかいですか？

あなたの体はねえ、あったかいです。じんわりあったかくて頭がポカポカします。

ぎゅっ、ぎゅっ、ぎゅっ。

おちんちん、パンツにくっついたままおつきくなってきたる。

いいんですよ。ぎゅっしてしたら、エッチな気分になっちゃいますもんね。おちんちんおつきくなっちゃいますよね。

抱き合ったままおちんちんをパンツに擦りつけて、おつきさせましょうね。

体を前後とか上下に揺らして、いっぱいこすりつけて……ね。

ぎゅっ、ぎゅっ。おちんちんおつきおつき。

パンツでおちんちん擦るのが辛かったら、柔らかいふともものほうでおつきさせますからね。

あなたが好きなほうでこすっていいですよ。

あたしはパンツもふともも、どっちも気持ちいいです。はふん。

もっと体くっつけてもいいですか。

ぎゅう、ぎゅう、ぎゅうー……。

あのですね、本当はおちんちんとおまんこを舐め合ったりして濡れ濡れにしてズッコンバツコンするつもりだったんですけど、こうやってくつついてるのがめっちゃ気持ちいいから、もう体はなしたくないです。

このまま一週間ぐらいハグしっぱなしでもいいですか。

だめですか？ あくん、いけずう。

あ、じゃあ寝転がってふとももの間におちんちん挟んでみていいですか。

おちんちん濡れ濡れになるまでふとももでこすりますから、ずっと体くっつけてぎゅってしてください。

ほらほら、横になって抱き合いましょう。

こうやっておちんちん挟んで……ね。

スリスリ、スリスリ。

あは、生あったかい。

スリスリ、スリスリ、こんな感じでどーでしょーか。

あ、気持ち良さそうな顔してる。えへへ。

おちんちんがにゆるにゆるになるまでゆっくりこすりますから、いっぱい気持ちよくなりましょーね。

スカート邪魔だったら脱ぎましょーか？

あ、変態だから脱がないほうがいいのか。

じゃあお尻にスカートぴったり張りつけて、ふとももの間から向こう側に出たおちんちんが、スカートにもこされるようにしますね。

こういうの、好きですか？

あは、嬉しそうな顔。やっぱり好きなんだ、エッチだなあ。

いいんですよ。あたしもエッチなの好きですから。

というか、あたし、ドスケベなんで！

あ、もうチンポシロップが漏れてきましたよ。

ちゃんと気持ちよくなれて偉いぞお。ご褒美におっぱいぎゅって押しつけてあげます。

んっ、んっ、んっ。

スカートやパンツにシロップが付いても大丈夫ですから、そんなの気にしないで、いっぱいチンポシロップお漏らししましょーね。

どうせあれですから、パンツはあたしのお汁でビチョビチョになっちゃうんで！

だから、遠慮しないでいっぱいすり付けてくださいね。

んっ、ふう……ん、ん……。

ふとももがチンポシロップでニユルニユルになってきました。

んっ、ん、はあ、はあ……はうっ、ん、はあ、はあ、んっ、ん、んう、はあ、はあ……。

ふとももの間でおちんちんが出たり入ったりするの、すっごく気持ちいいです。

内ももがゾクゾクして、気持ちいいのが昇ってきます。

あなたも気持ちいいですか？

うんうん。おちんちん気持ちよくなれて偉いぞお。

もうちよつと激しく動かしちゃいますか？

じゃあ、あなたが腰振ってください。

強めに抱きつきますから、体くっつけたまま、いっぱい腰へコヘコしてくださいね。

んああ……ん、ん、ん……。

うん……気持ちいい。

はあ、はあ、ん……ふとももでこすってるだけなのに、こんなに気持ちよくていいんじゃないか。

んふう、んう、んう……おちんちん、凄いです。

あの、抱き締めたままもうちよつと手を下のほうに、ふとももの付け根辺り、触って貰えませんか。

スカートの中に手を入れて……ね。

あんっ、それ、気持ちいいです。

はあ、はあ、はあ……そのまま触っててください。

あ、あ、あん、んっふう……。

お尻のほうがよかったら、パンツの中に手を入れてお尻サワサワしてもいいですよ。

どこを触ってもちゃんと肌がありますから……ね。好きなところ、サワサワしてください。

はっ、はっ、んっ……もつと触って。うん。もつともつと。

触り方、やさしーですね。えへへ。

んっ、はあ、はあ、はあ、はっ、やあん、気持ちいい……。

パンツ湿ってきてる……。お股、びちよ濡れになっちゃってるかもしれないせん。

おちんちん、パンツにぴったりくっつけて、こすりつけてください。

はあ、はあ、気持ちいい、おちんちん気持ちいいよお。

このままエッチなお汁いっぱい出して、パンツびちよびちよにしますね。その方が、おちんちんいっぱいクチュクチュできて気持ちいいですもんね。

おちんちんどうですか。チンポシロップ、出てる？

うんうん、偉い偉い。腰へこへこするの、上手ですね。

チンポシロップいっぱいお漏らしして、パンツにしみ込ませてくださいね。
ん、はあ、はあ……おっぱいの先っちょ、ジンジンしてきました。

おっぱい触って欲しいけど……でも、ふともとかお尻も触って欲しい……。

腕、もつと増やさせませんか。腕10本ぐらいで体中まさぐって欲しいんですけど。

無理ですよ、えへ。人間って不便ですね。

じゃあ、上の服めくっていいですか。

で、あなたの服めくって、肌と肌をくっつけて、抱きしめておっぱいスリします。

んっ……ん、ん、んう、肌の感触気持ちいい。

はあ、はあ、はあ、んっ……はあ、はあ、はあ、んっ、んっ、くにゃんっ……。

あたしもうオマンコびちょ濡れで、乳首も勃っちゃってるんで、おちんちん挿れたいんですけど、でも……まだ挿れちゃ駄目ですよ？

だって、あなたは変態だから、変態プレイで何度か射精して満足するまで絶対におちんちん挿れさせてくれないって、ドクター・エリスが言っていました。

勝手におちんちんをオマンコに挿れてノーマルセックスなんか始めたら怒り狂うって、ドクター・エリスが……。

んっ、やあん……気持ちいい……。

うーっ、おちんちん挿れたいー、おちんちんー、おちんちんー。

じゃあ、こういうのどうですか。パンツずらしますから、パンツの中におちんちん入れてください。

それでパンツとオマンコとふとももおちんちん挟んでこりますから。ねっ。

これなら、オマンコ使ってるけど中には挿れてないし変態ですよ。ねっ。

いいんですか？ やったあ。

じゃあパンツめくりますから、変態おちんちん、中にください。

ほらほら、入れて入れて。

……んっはあ……ん、んう。

おちんちんヌルヌルだあ。こんなになるまでシロップお漏らししたんですね。偉いぞお、偉すぎるぞお。

あたしも頑張って愛液お漏らししますから、パンツの中ニユルニユルにしていっぱいクチュクチュしましょーね。

オマンコとパンツの隙間におちんちんすっぽり入れて、ん、んっふ、あ……出したり入れたり、んっ、んん……クチュクチュ、クチュクチュ、クチュクチュ。

んっ、んうっ、あああ、ああ、ああ、気持ちいい、クチュクチュ気持ちいいー……。

ああ、ああっ、あんっ、オマンコ、気持ちいいー……。

んっ、あっはあっ、あああ、あっ、あっ、あっ、あっ、あふうっ。

カリ首がクリトリス引っ搔いて、さいこー……んはあ、気持ちいい、気持ちいいー……。

もっとお、もっど腰へコへコしてえ。

ふともも驚掴みにして腰へコへコしてくれたら、あたしもぎゅってしがみついておっぱいスリスリするからあ。

いっぱい腰押し付けて、オマンコの入り口こすってえ。

はあはあ、はあはあ、んっ、んっふう、あ、あ、んんっ。

ふともも、もっどぎゅってしたほうが、いいですか？

じゃあ、ぎゅって締めますから、それに負けないように、ふとももの間におちんちん押し込んでくださいね。

どうですか、おちんちん動かせそうですか？

んっ、んんっ……あっ、凄い、こんなにふともも締めてるのにグニユって入ってくる。おちんちん凄いぞお。

ねえ、もつとお、もつと腰へコヘコしてえ。

あっ、あっ、あっ、ああああっ。

ワレメにおちんちん密着して、さつきより気持ちいいです。

はっ、はっ、はっ、んくっ……気持ちいい、気持ちいい……。

おちんちんの先っぽ、ぷっくりしてて最高です。

あふう、ふう、ふう、ん、ん、あふううう。

パンツの中、チンポシロップと愛液が混ざり合ってビチョビチョお……すっごいエッチです。

はあああ、はあああ、あ、ああ、ああ、あ。

おちんちんでエッチなお汁すくって、オマンコに塗りつけてえ。

パンツとオマンコとふともも、全部ヌルヌルにしてえ。

んっ、んはあ、あうう、あふ。

ぷっくりおちんちん気持ちいいー。お股ゾクゾクしてオマンコキュンキュンするう。

おちんちん当たつてるところから気持ちいいのが広がってくるう。

あっ、あっ、あっ、あんっ、気持ちいい、気持ちいい、んっ、気持ちいいん……んっはあ、んくう。

変態プレイ、さいこー……。

あああ、あああ、あああああ、はっ、はっ、はっ……。

あん、あ、あ、あん……あたし、イクかもしれません。

イッたことないからよく分かりませんが、あなたのおちんちんならイケちゃいそうです。

もつと、もつとおちんちんでチュコチュコしてください。

あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、気持ちいいのがどんどん昇ってきます。

あんつ、気持ちいい……気持ちいいよお。

あふ、うう、あんつ。

あなたも一緒に、チンポミルク出してください。パンツの中に、ドブドブ出してください。

ミルク出してもらいながらイッたほうが、絶対気持ちいいと思うんで。

はあ、はあ、はあ、あつ、あうつ。

ぎゅってしてえ。もつとぎゅってしてえ。

もつとくつつきたいです。体全部くつつきたいです。

あつ、あつ、あつ、イキそ……。

一緒に、一緒に。ぎゅってしたままイッて。

あつ、あつ、あつ、イク、イク……。

射精ポイント

ああつ、あああああ、あ、あ、あうう、あうう……はあつ、はあつ、はあつ……はあ……。

おちんちんの中に、ミルク、残しちゃダメですよ。

ふとももで搾りますから、パンツの中で最後までぴゅっぴゅって、してください。

まだ体離しちゃです。全部出し終わるまでぎゅってしてて欲しいです。

パンツの中、チンポミルクでいっぱい。ぐっちゃぐちよ。

はあ、はあ……はあ……はあ……。

すっごく気持ちよかったです。あなたも気持ちよかったですか？ あ、顔見たら分かります。えへへ。

ちよつと休憩したら、続き、しましよーね。

ぎゅっ、ぎゅっ、ぎゅっ。

エリス..

おいお前ら、声がでかいぞ。

お前らの喘ぎ声で森の動物達が盛^{さか}って家の中に押し入^いってきたらどうするつもりだ。

ともあれ一区^{ひとくぎ}切りついたようだな、ご苦労。さっさと体を洗ってこい。

リリフローラ..

えっ。

あたしまだ、おちんちん挿れてズッコンバッコンしてないんですけどっ。

エリス..

今日はこの辺にしておいたらどうだ。部屋も臭^くいし。

リリフローラ..

やだーっ、エッチしたいーっ。

セックスセックス！

エリス..

リリフローラよ、いいことを教えてやろう。

楽しみはすぐに味わうよりも、一度寝かせた方が、より大きく膨らんだな。

リリフローラ ..

おちんちんを寝かせたら膨らむんですか？

膨らんでどうなるんですか？

エリス ..

爆発する。

リリフローラ ..

すごい！

トラック 06 .. 味覚機能実装

リリフローラ ..

これ、食べていいんですか？

エリス ..

ああ、味覚機能を実装したからな。

これからはリリフローラも私達と同じように食事をとっていいぞ。

リリフローラ ..

やったあ！

エリス ..

しかし、生まれて初めてとる食事がドクター・エリスの手料理とはな。リリフローラも果報者かほうものだな、ええ？

リリフローラ ..

わあーっ、すっごく不味そう！

エリス ..

くっ……確かに見た目はよろしくないが、こういった状況では、率直な感想よりも、思い遣りというものをだな……。

リリフローラ ..

いただきますっ。

あむっ、はむ、はむ。

はぁーん……めっちゃめっちゃ美味しいです、これ。

この旨味……そしてこの旨味……はあゝん。
うまみ

これはどういった料理なんですか？ あたしの中にあるデータを照合しても、一致する成分が見当たりません。

エリス..

もんがいふしゅつ
門外不出だ。

あゝ、スープを飛ばすな。

お前らはどうして揃いも揃って食い方が汚いんだ。

リリフローラ..

はあゝん、美味しかった……もつと食べたいです。おかわりくださいおかわりつ。

これ貰っていいですか貰いますねありがとうございます。

エリス..

ああつ、待てそれは私の皿だ。

リリフローラ..

あががががが……。

エリス..

あゝ、しまった……。

完全に動作を停止しているな。

おい、それを食べ終わったら、リリフローラをメンテナンスルームまで運ぶの手伝ってくれ。

大丈夫だ、原因は分かっているからな、修理に大した手間は……ん、原因を知りたいのか？

あー……あのな、私達が食べているものとリリフローラが食べていたものは、全くの別物なんだ。

リリフローラの皿に入っていたものは、セクサロイドの燃料だ。

それを口から取り入れると旨味を感じるようにプログラムしてある。

味覚機能とは名ばかりのまやかしだよ。

セクサロイドには本来、食事をとる機能など備わっていないからな。

だから燃料以外の異物を体内に取り込んでしまうと、先程のように動作不良を引き起こす。

その辺は特にデリケートだからな、動作不良を引き起こすには、このスプーン一杯分もあれば充分だ。

……あー、その……今言った事はリリフローラには伝えないでくれ。

リリフローラの感情は、こういった微妙な問題を感じ取れるほどに発達してきているからな。

……いや、先程の様子からするとまだまだ未発達か？ フツ……。

まあ、リリフローラにはいずれ話すことになるだろうが、今は純粹に食事を楽しませてやれ。

さ、話は終わりだ。食うぞ。

トラック 07 .. ★リリフローラ 乳首舐め合い・相互手淫

エリス..

おい、なんだあの床の汚れは。丁寧に磨けと言っただろう。

何かを引き摺ったような跡がくつきり残っていたぞ……ああ、それだ、お前の足に繋いでいる鎖だよ。

今度からは、その鎖の汚れを拭き取ってから部屋の掃除に取り掛かるんだぞ。

まあ、その点を除けばそこそこ綺麗になったな。ご苦労。

もう掃除はいいから、今日はリリフローラの相手を頼む。

今回は哀しみのリミッターを外したからな。あと、ついでに恥じらいのリミッターも外しておいた。

より良いセックスの為には、恥じらいが必要だろう？ ククッ。

今のリリフローラは以前のリリフローラに比べて、性格が著しく変化したように見受けられるかもしれんが、変化というより、新たな面が表れたという表現の方が適切だ。

以前の人格が消え去った訳ではない。人間の性格だって多面的なものだろう。今のリリフローラは、哀しみと恥じらいの感情が芽生えて少し臆病になっているだけだ。

だから、今日はお前がリードしてやれ。

リリフローラ..

あ、こんにちは。

えっと、あの……も、もうすぐ夏ですね。

気温が上がったら、あたしの体、オーバーヒートしませんかね。

セックスの最中^{さいちゅう}に爆発したりして……あはは……。

……や、やりますか？ セックス……。

えっと、じゃ、じゃあ、どうしようかな……えっと……。

ひゃんっ！

あ、いえ、大丈夫です……そのまま触り続けてください。

ふともも、好きなんですか……？

んひゃっ！

あ、あんまり指先でチロチロされると……いえ、嫌じゃありませんけど……くすぐったいです。

この間はすみません。なんか浮かれちゃって。

フシダラですよ、あんなの……。

あのような醜態しゅうたいを晒した自分が嫌になります……。

後悔って、こういうことなんですね……はは……。

あ、いえ、エッチなことは別に嫌いじゃないんですけど……。

と言うか、むしろ好きなんですけど……。

自分の欲望を剥き出しにしてあなたにぶつけてしまったことが、恥ずかしいというかなんというか……。

あなたの気持ちも考えずに……ほんと駄目ですよ、あんなの。セクサロイドのくせに、ねえ？

んっ、んあっ……触り方、やらしーですね。

あ、スカートの中まで……あうう。

なんかそれ、エッチです……。

剥き出しの肌を直接触られるより、スカートの中で弄まさぐられてるほうがなんか……余計エッチに感じます……。

あたしの体って、どうなんでしょうか……？ 変じゃありませんか……？

ふとももとか、平均より太いような気がするんですけど……。

ひゃっ！

んっ、あつ、あうう……なんでいきなりスカートの中に顔入れるんですか……ダメえ……。

あ、いえ、ダメじゃないです……好きにしてください……。ダメだけどダメじゃないです……ううう、何言ってるんだあたしは……。

あつ、そんな、犬っころみたいにパンツクンクンしちゃダメ……じゃないです……。

やあんっ……やだあ……んっ、んあつ、んううう……。

や、やだっ、いい匂いとか言わないでください。

んっ、パンツですよ、いい匂いなわけないじゃないですか……。

あたしの匂いって、どんな匂いなんですか……？

このあいだ味覚機能を実装して貰った時に、嗅覚も一緒に付けて貰ったんですけど、んっ……自分の匂いって、自分じゃよく分かんなくて……。

花びらのような香り、ですか……んっ、んふうっ……そうなんだ、良かった。

……あんっ。

あ、あの、でも、さっきからパンツの匂いしか嗅いでないじゃないですか……ううう……。

ん……はあ、はあ、はあ、んっ、んっ、はあん……スカートの中でモゾモゾしちゃダメ……じゃないです。

あつ、やんっ。

あ、あの、そこまでやっちゃいますか、パンツごしに舌入れちゃうんですか。今日は随分、はあ、はあ、積極的、ですね……。

んっ、んああ、ああ、ああ、ん、くにゃんっ。

はああ、はあ……つくうん、ん、んっ、んっふう。

きゃんっ、うわあ……ちゅーちゅーされちやつてる……うわあ……。

はあ、はあ、はあっ、あふっ、ダメです、パンツごと吸うのは変態過ぎます。

はあ、はあ、そんなことされたら、あたし……あ、あ、あ、やんっ、ダメえ……。

んっ、んゆっ。やあん……そんなにされたら、体、動いて……脚で……顔、挟んじやいますよ……。

ああっ、ああんっ！

ダメって言ってるのに……。

え、ええっ？ パンツ美味しいってなんですか。あ、味なんてしないでしょ。パンツなんですから。

美味しい訳ないじゃないですかあ……。

う、うう……なんかこれ、すっごい恥ずかしいです……。

あたしだけエッチな感じにされちやつてるのが、なんか……。

なんかダメだぞ、これは……ダメだぞ恥ずいぞ……。

も、もういいんじゃないでしょうか。顔上げてください。

はあ、はあ、はあ……あたしだけじゃなくて、あなたもエッチな感じになっ
てくれないと……ダメです。

あなただって、もうおちんちんパンパンじゃないですか。

スカートの中で犬っころみたいにハアハアするのがそんなに気持ちよかった
んですか？ほんとスケベですね。

ほら、おちんちん出してください。シコシコしてあげますよ。

シコシコ、シコシコ、シコ……。

ああつ、ダメっ。

主導権っていうんですか、なんかそういうの自分で握ったら平常心で居られるかと思ったんですけど、実際やってみたら余計恥ずかしいだけでしたっ……。見ないでください見ないでください、主導権どころかおちんちんもまともに握れないこの哀れなセクサロイドをどうか見ないでっ……。

ふあつ、ど、どうしたんですか、急に抱きついてきて。

あつ……ん……はふん……ぎゅってして貰うの、気持ちいい……。

頭、撫でて貰えませんか……。

ん……ん……んっ、ふう……。

……もう、大丈夫です。

えへへ……。

あの、おちんちんゆっくりシコシコしますから、あなたもあたしのここ、ゆっくり触って貰えませんか。

あ、はい、パンツの中に、手、入れていいですよ……んっ……。

シコシコ、シコシコ、シコシコ。

あ、蕩^{とろ}けそうな顔してる。おちんちん触って欲しかったのにずっと我慢してたんですか？

言ってくればいいのに。

シコシコ、シコシコ、シコシコ。

もしかして、あたしがなんか変な感じだったから、気を遣^{つか}ってリードしてくれてたんですか？

えへへ……次からはおちんちん触って欲しくなったら、我慢しないで言ってくださいね。

あなたのおちんちんなら、いつでも好きな時にシコシコしてあげます。

シコシコ……シコシコ……シコシコ。

どうですか、おちんちん気持ちいい？

えへ、あたしも気持ちいい。

まだちよつと恥ずかしいけど、あなたと一緒に気持ちよくなってくれてるから、なんか安心できます。

あんっ……おっぱい触りたいんですか？

構いませんけど、えっと、その……やつぱり舐めたりするんですか？

うう……いえ、別にいいんですけど……その、小さいし……。

じゃ、じゃあこうしませんか。

先にあなたの胸を舐めさせてくれたら、そしたらおあいこだから恥ずかしくない……かも。

ね、そうしましょう。上脱いでください。

あ、できたら……舐めてる間もずっと、その……パンツの中、触ってて欲しいです。

気持ちいいの、一緒にいいから……。

じゃ、じゃあ、ペロペロしますね。

んっ……れろ、れろ……舌先で優しく舐めたり、れろ、れろ、れろ……唇を当てたりして、ちゅば、ちゅば、んっ、ちゅば、ちゅば……気持ちよくしますからね。

気持ちのいい舐め方は全部あたしの中にインプットされてますから、任せてください。

れろ、れろれろれろ、ちゅば、ちゅば、ちゅば、れろれろ、れろれろれろ、ちゅば。

おちんちんシコシコも続けますからね。沢山ぴゅっぴゅできるように、いっぱい気持ちよくなりましょーね。

れろ、れろ、れろれろれろ。

今度は舌全体を押し付けますよ。ちょっと刺激が強いかもしれませんが。

べろ、べろ、べろ、れろれろれろ、べろ、べろ、べろ、ちゅぱ、ちゅううう。

どうですか。もし痛かったら、もっと優しくしますからね。大丈夫ですよ、気持ちいいことかもしれませんから。

れろ、れろ、れろ、ちゅぱ、べろ、べろ、べろ、ちゅぱ、ちゅぱ。

こっちの乳首も舐めたげます。左右で結構感度が違ったりしますから、舌先で優しく舐めますね。

れろ、れろ、れろ、れろ、ちゅぱ、れろ、れろれろれろれろ。

あは、おちんちんピクピクしてる。

気持ちいいですか？ おちんちんとか乳首に気持ちいいの欲しくなっても、一人でしちゃダメですよ。

欲しくなったら、いつでもあたしがしてあげます。

れろ、れろ、れろ、べろ、べろ、べろ、ちゅぱ、れろれろれろれろ、ちゅうううう。

チンポシロップ垂れてますよ。気持ちいいですね。

どっちの乳首が気持ちいいですか。

どっちも？ あは、偉い偉い。

おちんちん切ないんですか？

じゃあ、舐めるの交代しましょうか。

おちんちんヌルヌルですよ。偉いね。

ちよっと待ってくださいね。服、たくし上げますから。

んしょっ。

……あんまり見ないください。

あ、でも……見ることであなたが興奮するなら、見てもいいです……。

えつと……人間の平均サイズと同じぐらいだから、特別小さい訳じゃないんですけど、でも、平均値と感覚的な大きさは別物だし……。

……えつ、小さいのが好きなんですか？

そ、そうなんだ……。

あつ、そうか。あなたは変態だから、趣味が変わってるんだ……。

へえ、そうなんだあ。えへへへ。

はい、どうぞ。いっぱいちゅーちゅーしていいですよ。

んっ、ん、っふあ……乳房から舐めるんですね。

あ、いえ、不意打ちだったもんで……ゾクってきちゃいました。

あつ、……シコシコ、シコシコ、シコシコ……。

おちんちん気持ちいい？

そういえば前にあたしのおっぱいを揉んだ時も、楽しそうに乳房ちぶさを触ってましたよね。

ほら、ドクター・エリスがあたしの代わりにエッチな声を出してくれた時です。

えへへ、ちゃんと覚えてるんですよ。

シコシコ、シコシコ、シコシコ。

んっ、んんっ……おっぱいに唾液の跡が薄く残って、エッチですね……。

あつ、乳首……ああああ……あう、あんっ……あつ、あううっ、んっ……んう……それ、あたしがさっきやった舐め方……。

んっ、あなたが気持ち良かったから、あたしにも同じことしてくれてるんですよね……えへ、嬉し。

んふう、あ、あんっ……おっぱい、気持ちいい……胸の中までポカポカします……。

ん、ん、ん……おっぱいちゅーちゅーするの、興奮しますか？

おちんちん、すごいことになってますよ。シロップがダラダラ漏れて……。

これ、ミルクじゃなくてシロップですよ？ ……わあ、すごい……。

おちんちんツライですよ。そろそろ手の動き、激しくしましょうか。

親指と人差し指が亀頭に軽く当たるようにおちんちん握って、竿と一緒に亀頭もこすっちゃいますね。

あの、あなたもあたしのここに指入れて、お、奥まで……こすっちゃってください。今なら多分、何されても気持ちいいです……。

うあつ、あつ、あつ、ああつ……んにやつ、気持ちいいれす、つぶあ、ああつ……今までで一番気持ちいいかも……。

音、あんまり聴かないください……んくつ、んう、おちんちんの音よりもおつきくて、恥ずかしい……。

おっぱい、らめ、んくうつ、ふあ、あ、あ、気持ちよすぎりゅ……。

乳首啞えちやらめれす、あつ、あううつ、うあああ、らめらめ、そんな赤ちやんみたいに吸っちゃらめ、あ、あ、あ、ああああ……。

またあたしばっかりい……んあつ、あうんつ、らめれすつてばあ……。

お、おちんちん、んくつ、おちんちんもつとめと激しく擦りますからね。

あなたも今までで一番気持ちよくなれるように、カリのとこクニクニユして、んふああつ……あ、あう、いっぱい刺激……しちゃいまふからね……。

ほら、クニクニユ、クニクニユつて……ど、どうれすか、これ。

ん、んふああんつ、お、おっぱい吸いながら返事しちゃ、あつ、あつ、んああつ。

んふえっ？！ ……じゅる……や、やだ、涎垂れちゃった。

うわぁ、恥ずかしい……うわぁ……でもあなたもおちんちんからこんなに涎垂らしてるし……一人で何言ってるんだあたし……うわぁ、シコシコシコシコ。

シコシコシコシコ……ん、んふうあ、あつ、あつ、あつ、あつ、んんっ。

……じゅる……うあ、また……ん、ん、んふう、あつ、あつ、あつ、ああああ。

涎、止まない……あたしの体、変れす……気持ちよくって、涎ダラダラ垂れちゃって……あつ、あうっ、快感が高まりすぎて、壊れちゃったんれしょーか……。

へ、変じゃないんれすか？ 人間でもこんな風になっちゃうこと、あるんれすか？

う、うう……あなたがそう言うなら、信じまふ……う、ううう……なんれか分からないけど、嬉しいれす……。

あううっ、あうっ、あつ、あつ、あつ……あ、涎、おっぱいまで垂れちゃってりゅ……。

あ、あ、涎ごとおっぱい舐めちゃられれす……お、おっぱいも涎も美味しいって、そんな……う、うわぁ……。

んっふあ、あひん、んあつ、あつ、お股のどこ、ジンジンする……もうられれす、ううー……なんか、気持ちよすぎて泣きそうれす……。

お、おちんちん。っふあ、んあ、んあ……おちんちん、ぴゅっぴゅしてくらさい……。

これ以上気持ちいいの続いたら……じゅる……壊れちゃう……。

だから、あたしと一緒に、ぴゅっぴゅ、んあぁ……んうっ、ぴゅっぴゅ、お願いします……。

おっぱいちゅーちゅーしながらでいいれすから……。

気持ちよくぴゅっぴゅできるように、一生懸命シコシコしますから、っふあああつ、あうううう。

お願い……あう、あうう、ううっ、いいっ、気持ちいいよお……お股もおっぱいも頭の中も、全部、気持ちいいよお……。

そこ、気持ちいいれす……も、イッちやう……そこ、ぐりぐりっ、してくらさい……。

んっ……あ、あ、あ、はうっ……もう、我慢できません……。

おちんちんも一緒に、ぴゅっぴゅーっ……チンポミルク、いっぱい射精、しましよ、うあんっ。

おちんちんの上からおてて被せますから、おてての中に、いっぱい、ミルク……。

あっ、もうらめ、らめ、イッちやいます……

射精ポイント

あ、あ、あ、ああっ、んあああああっ！ ああああああっ！ ああああああ

ああ……気持ちいい、気持ちいい、ふあっ、気持ちいい……。

はあ、はあ、はあ、はあ……ん、気持ちいい……。

おちんちん、ぴゅっぴゅ終わるまで、おててで包んできますから、おちんちん空っぽになるまで、何度も何度も、出してくださいね……。

はあ、はあ……気持ちいい……気持ちいい……まだお股に、気持ちいいの、残ってる……。

じゅる……ご、ごめんなさい……涎、こんなに垂らしちゃって……うう、はしたない……。

でも、あなたもおちんちんからこんなにいっぱいミルク出したんだから……
おあいこ、ですよ？ えへへ。

トラック 08 .. 恥知らずな乙女のような格好

エリス ..

お前は何をやらせてもどこか抜けているが、薪割りだけは上手いじゃないか。
記憶を失っても体が覚えているのか？

セックスの腕は拙つたないくせにな。くつくつく。

……いや、待てよ……リリフローラの話聞く限り、そうでもないのか……？

しかし……セックスの満足度は、相性に依よるところが大きいからな……。

ううむ。仮にお前がセックスの技能に長たけていたら、それに合わせて
リリフローラの感度を調整せねばならんな。

よし、薪割りはもういい。今から私のベッドルームに行くぞ。ついてこい。

いいか、よく聞け。

リリフローラがセクサロイドとして正常に機能しているかどうかを判断する
為に、お前の技量を正確に把握しておく必要がある。

そういう訳で、今から私がお前のセックスを検分けんぶんしてやろう。

何をしている、こちらへ来い。私が直じき々に相手つとを務めると言っているんだ。

お前は私と交まじわるのが嫌なのか？

私は目的を達成する為ならば、セックスぐらいということはないぞ。別
に愉快でも不愉快でもないからな。

お前が嫌なら無理にとは言わんが……なんだ、既に半勃起しているじゃないか。

私の部屋の匂いを嗅いだけで勃起したのか？ お前は本当にいやらしいな。始める前に、お前の好みを聞いておこう。

今回の目的は、お前の技量を正確に測ることだからな。出来るだけ欲情を刺激したほうが、本来の技量を発揮しやすいだろう。

服は……着たままがいいんだな？

ああ、構わんぞ。どうせ汚れた服はお前が洗うんだからな。

あ？ 他の服？ ……この服じゃ駄目なのか。

ズ、ズボンだから駄目なのか……いや、しかし、私はスカートなんて……。

おいこら勝手にクローゼットを開けるな。

そ、その服は……ドイツの軍服ぐんぷくを元にデザインされたもので、ズボンの代わりにやたら短いフリルスカートが……。

それを私に着ると……？ そんな恥知らずな乙女のような格好を……？

いや、やめよう……こんな訳の分からない服……。

なに？ この格好でないと、お前の技量を存分に発揮できないのか？

クッ……お前という奴は本当に……不愉快だが仕方ない……。

あ？ 白い下着に黒のニーソックスも着用しろと？

あーもうっ、分かった分かった。着替えるから部屋の外に出てろ。

トラック 09 に続く

トラック 09 .. ★エリス 甘やかしながら手コキで連続射精

トラック 08 からの続き

エリス ..

くっ、よもや再びこの服を着る日がくるとは……。

舐め回すように見るのはやめろ……。

言われた通り、下着もちゃんと白を穿いたぞ。

あ？ スカートをめくればいいのか？

しょうがないな……ほれ。

この下着で文句ないだろ。

これ以上衣装に文句をつけたら、お前の陰毛を燃やしてやるからな。

は？ スカートをめくったまま敬礼すればいいのか？

こ、こうか？

くっ……なんだこれは……。

おい、もういいだろ、始めるぞ。

ところでお前は、何発ぐらい続けて射精できるんだ？

リリフローラを相手に射精する時は、いつも一発で終わりだろう。

射精を堪える技量はあるようだが、出した後はどうなんだ？

よし、セックスは明日にまわして、今日はペニスの耐久力を調べよう。

ではペニスを……あー、お前はペニスじゃなくておちんちんとか呼ばれたほうが、より興奮するんだったか。

よし、おちんちんを扱しいてやるから、射精しそうになったら言うんだぞ。

相変わらず目覚しい勃起力だな、このペニスは。

あー……相変わらず凄いな、このおちんちんは……こんなにおつきおつきして……。

お前が快感を高めやすいように、性行為中はお前が好きそうなワードをチョイスしてやるが……これは飽くまでも演技だから……。

あと……射精を促す為に少し甘ったるい口調になるかもしれんが……分かっているな、演技だからな。

では、おちんちんを扱しいていくぞ。

他に、行為に関する希望はあるか？

シコシコされながら私の体を触りたいのか。

ま、いいぞ、体ぐらい。好きなだけ触れ。

あ？ またスカートをめくるのか？ 片手でスカートをまくし上げたままシコシコ？

ったく。お前は本当にどうしようもない変態だな。ほれ。

ひよつとして、セックスよりも、こういった訳の分からないプレイの方が興奮するんじゃないのか。

女の脚あしなんか、街に出ればいくらでも見れるだろうに。

私のふとももを見たぐらいでこんなにおちんちんをおつきさせて。

ん、こうやって脚と一緒に、パンツを見せてもらうのが好きなのか？

そうだなあ、街じゃ、パンツなんか見れないもんなあ。

パンツを見せてくれる私のような天使が居てよかったなあ。

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。

純白のヒラヒラした可愛いパンツを見ながらシコシコしてもらえて嬉しいなあ？

シコシコ、シコシコ。

おちんちんから我慢汁が漏れ出てきたぞ。よしよし、気持ちいいなあ？
手の平全体を密着させて、根元から先っぽまで何度も何度もこすってやるかな。

んー？ 切なそうに私のふともをいじって、どうしたんだあ？

ニーソックスの中に手を入りたいのか？

フンツ。入れろ入れろ。

ちゃんと、お前の好きそうなレース付きのニーソックスを穿いてやったんだぞ。

中に手を入れて、好きなだけスリスリしていいんだぞお。

おちんちんは私に任せて、お前はニーソックスとふとももの間で、スリスリ、しようなあ。

レースの肌触りが気持ちいいだろう。男の服にはレースなんてあんまり付いてないもんなあ。

ふんわりした感触が、女の子らしくて気持ちいいなあ？

パンツも堂々と見ていいぞ。お前の為に穿いたパンツなんだからな。こんなの、普段は穿かないんだぞ。

よしよし、我慢汁がどんどん漏れてきてるな。いっぱい我慢してるんだなあ。おちんちん偉いぞ。立派だぞ。

でも今日は、無理に我慢しなくていいからな。おちんちんがびゅっびゅしたがつてるから、そろそろ射精しちゃおうな。

パンツ見ながらふとももスリスリして、白いおしっこ、だそうな。

もう出るか？ うんうん、ドロドロのおしっこ、射精しようなあ。気持ちいいの、いっぱい出そうなあ。

シコシコ、シコシコ、シコシコ。シコシコ、シコシコ、シコシコ。
うん、うん。出る、出る。ほおら、出るぞお。白いおしっこ、どぴゅって出るぞお。

射精ポイント

どぴゅどぴゅ、ぴゅっぴゅ、白いおしっこぴゅっぴゅっ。

気持ちいいなあ？

うん、うん。頭の中も真っ白にしたまま、何も考えずにぴゅっぴゅしような。エリスお姉ちゃんが全部受け止めてやるぞ。

シコシコ、シコシコ……。

まだ出るか？ いいぞお。好きなだけ漏らしていいからな。

白いおしっこが出なくなっても、おちんちんをピクピクさせて、最後まで射精の余韻を味わおうな。

うんうん、いっぱい出たな。ちょっとこすっただけでこんなに出せるなんて、偉いぞお。

なんだ？ すぐ白いおしっこ出しちゃったこと、気にしてるのか？

すぐ出るようにこすったんだから、早くて当然だろお。気にしないでいいんだぞ。

よしよし、ちゃんと出せて偉いぞ。

この調子でいっぱいぴゅっぴゅしような。今日はエリスお姉ちゃんが、好きなだけヌキヌキしてやるからな。

漏らした精液もお姉ちゃんが拭いてやるから、お前はお姉ちゃんの体をさすったり揉んだりして、快感に浸ることだけ考えてればいいんだぞ。

んー？ どうしたあ？ こういう甘ったるいの、嫌なのか？ 私は別に嫌じゃないんだけどなあ。

今日はエリスお姉ちゃんにいっぱい甘えていいんだぞ。

おちんちんの準備が出来るまでの間、タマタマを揉んでやろう。

よしよし、エリスお姉ちゃんの膝の上に来い。

そうそう、上半身を乗せて、な。

もつとくっついていいんだぞ。全然重くないからな。よしよし。

可愛いタマタマだな。タマタマからおちんちんの方にミルクが行き届くまで、モミモミしててやるからな。

お前はお姉ちゃんの体を触りまくっていいぞ。いっぱい触って、またエッチな気分になろうな。

んー？ おっぱいを生で触りたいのか？

う……お、おっぱいか……うーん……今日は特別だぞ……。

ほら、ボタンを外したから……触っていいぞ。

お前の手の方が、少しだけ温かいな。

ん、はあつ、んっ……。

そろそろおちんちんが寂しくなってきたか？

よしよし。エリスお姉ちゃんがおてで慰めてやるぞお。

シコシコ、シコシコ。

気持ちいいかあ？ 痛くないかい？

うんうん。ちゃんとおちんちんの準備、出来たんだな。偉いぞ。

おちんちんの先っぽから、さっき出したミルクの残りが漏れてきたぞお。

おちんちんが泣いちゃうぐらい寂しかったのか。よしよし。

待たせたお詫びに、おちんちんたっぷり気持ちよくしてやるからな。

新鮮なミルクをピュッピュする前に、これ全部、出しちゃおうな。

お尻に力を入れて、射精する時みたいにおちんちんキュッキュってしような。

ほら、シコシコして手伝ってあげるから、やってごらん。

シコ、シコ、シコ、シコ、シコ、シコ。

シコ、シコ、シコ、シコ。

うんうん、こうやって中に残った白いおしっこをチョロチョロ漏らすのも、おちんちん切なくて気持ちいいだろ。

もし本当におしっこが出ちゃったとしても、気にしないでいいからな。

エリスお姉ちゃんは、そんなことでお前を嫌いになったりしないぞお。

出るものは全部出して、思う存分快楽に浸ろうな。

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。

んー？ おっぱい吸いたいのか？

う、うーん……しょうがないなあ、もう。

お姉ちゃんのおっぱいに甘えなくなっちゃったんだもんな。よしよし。いいんだぞ。

ほら、お姉ちゃんにぎゅってしがみついて、おっぱいちゅーちゅーしような。

頭撫でながらシコシコしてやるから、またエッチなミルクをぴゅっぴゅしような。

よしよし。よしよし。おちんちんよしよし。

んー？ なにか言ったか？

ん？ 好きい？

好きって、エリスお姉ちゃんのことか？

そうか、好きなのか。

頭の中もおちんちんもトロトロで、すっごく気持ちいいもんなあ。こんなの、好きになっちゃうよなあ。

好きになっちゃっても大丈夫だぞ。お姉ちゃんもお前のこと、好きだからな。だから大丈夫だぞお。

また我慢汁がいっぱい漏れてきたな。好きって言われて興奮しちゃったのか？ 可愛いなあ。

エリスお姉ちゃんはお前が言ったことに適当に合わせるんじゃないで、本当に好きなんだぞ。

好きじゃなかったら、こんな風におっぱいをちゅーちゅーさせながらおちんちんの面倒をみたりしないだろ。

おちんちんをシコシコするのも、エッチな服を着て。パンツを見せたりするのも、おっぱいちゅーちゅーを許したりするのも、全部お前のことが好きだから、なんだぞ。

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。

お姉ちゃんに好かれてること、今まで気付かなかったのか？ 鈍い奴め。にぶ

エリスお姉ちゃんはお前が好きだから、お前のこと、ちゃんと分かっているぞ。いつもお姉ちゃんが作った料理を美味しそうに食べてくれるじゃないか。そういうところ、好きだな。

掃除や薪割りを進んでやってくれる思い遣りのあるところも好きだし、おちんちんが気持ちよくって切なそうな顔してるところも好きだし、好きって言われてそうやって照れてるところも、大好きだからな。

本当にお前は、どうしようもないぐらい可愛いな。

どうしたあ？ おちんちん、切ないのか？

よしよし。よく頑張ったな。大好きなお姉ちゃんのおてての中で、ぴゅっぴゅしちやおうな。

このまま耳元で好きって言いつけてやるから、それ聞きながら、白いおしっこ、漏らそうな。

エリスお姉ちゃんは、お前のことが、好きだぞ。

好き、好き、好き……ずっと好きだったんだぞお。

ほら、好きだから、出して。

好き、好き、好き、大好き……ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ……。

射精ポイント

出てる出てる。気持ちいいな？

うんうん……好き、好き好き、大好きだぞお。

ほら、おっぱいに甘えていいぞ。。

好き……好き……大好き……。

大好きなお姉ちゃんに、抱きつき射精、しちゃったな。

よく頑張ったな。二回目なのに、こんなに濃いのが……偉いぞお。

よしよし。拭いてやるからな。

おちんちん、キレイキレイしような。

まだ続けて射精できそうか？

ん、そうか。まだまだお姉ちゃんにシコシコして貰いたいんだな。

今度はどうして欲しい？ んー？ ふとももお？

出したばかりなのにエッチだなあ。偉いぞお。

じゃあ膝の上に頭を乗せて、スカートの中に潜り込んでみな。

よしよし。ほら、好きなだけふともものにほっぺたくっつけていいんだぞ。

頭にスカートを被せて、スカートごしに頭撫でてやるからな。よしよし。

ふとももとスカートのお布団はどうだあ、気持ちいいかあ？

よしよし。じゃあ今日からは、ここで寝ようなあ。

おちんちんがもうムクムクしてきたぞ。

お姉ちゃんのふとももをモフモフして興奮しちゃったのかあ？

よしよし、偉いぞお。

今度は亀さんで気持ちよくなろうな。

いっぱいお汁が出るから、おちんちんヌルヌルにしてクチュクチュできるぞお。

どうだ、苦しくないか？ 痛くならないように、優しくナデナデするからな。気持ちよかったら、声出しちゃっていいぞ。

お姉ちゃんのスカートの中で、気持ちいいよお、ってつぶやきながら、ハアハアしような。

亀さん責められたら、おちんちんもっと切なくなっちゃう？

切なくなっても、そばにエリスお姉ちゃんがいるから、大丈夫だぞ。

クチュクチュ、ハアハア。クチュクチュ、ハアハア。

亀さん、気持ちいいなあ？ 切ないのが込み上げてきたら、パンツに口を押し付けて、息をいっぱい吐こうな。

お姉ちゃんが、お前の切なさを全部受け止めてやるぞお。

ほら、フウフウ、って。

そうそう、パンツフウフウ。

クチュクチュ、フウフウ。クチュクチュ、フウフウ。

おててがあいてるぞ。両手をお姉ちゃんの後ろにまわして、お尻サワサワしような。

お尻。パンツ、好きだろ？ 驚掴みにしちゃっていいんだぞ。

息がどんどん荒くなってる。

口から漏れた息でスカートがヒラヒラして、エッチだぞお。

どうしたあ？ もう出しちゃうのかあ？

亀さんクチュクチュは、刺激が強いもんなあ。

よしよし。両手で亀さんを包んで、全部いっぺんにこすってやるからな。

おててもエッチなお汁でヌルヌルだから大丈夫だぞお。痛くないぞお。

んしょっ……クチュクチュ……クチュクチュ……クチュクチュ……クチュクチュ……クチュクチュ……クチュクチュ……クチュクチュ……

ちよつとだけ我慢したら、気持ちいいのがいっぱいくるからな。

クチュクチュ……フウフウ……クチュクチュ……フウフウ……クチュクチュ……クチュクチュ……クチュクチュ……クチュクチュ……

痛くなあい？ うんうん。偉いぞ。

おちんちん切ないなあ？ 気持ちいいなあ？

どうしたあ？ もう出しちゃうのかあ？

亀さんクチュクチュは、刺激が強いもんなあ。

ほら、エリスお姉ちゃんのふとももをちゅっちゅしていいから、それで気を紛らわそうな。

ふとももに顔を埋めて、ちゅっちゅ、ちゅっちゅ。よしよし。

もう出そうだな。白いおしっこ、昇ってきてるぞ。

出る……出る……出る……ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ。

射精ポイント

全部出終わるまで、竿をシコシコしてやるからな。

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。

よしよし。亀さんクチュクチュ、切なかっただろ。よく頑張ったな。

ご褒美にお姉ちゃんが抱き締めてやるぞお。おいで。

んっ……まだ息が荒いな。大丈夫か？

呼吸が落ち着くまで、お姉ちゃんと抱き合っような。

おちんちん、まだジンジンしてるか？

うんうん。亀さんクチュクチュで射精したら、出した後もしばらく気持ちいいのが残るもんな。

だから、お姉ちゃんの体をぎゅってしてるだけで、おちんちん気持ちいいの？

よしよし。頭撫でてやるからな。お姉ちゃんの匂い、いっぱい嗅ごうな。

よしよし……よしよし……よしよし……。

んー？ どうした？

ちゅー？ ちゅーがしたいのか？

あー、その……ちゅーは駄目なんだ……。

いや、意地悪で言ってる訳じゃなくて……ちゅー自体は全然嫌じゃないんだけど、その、お姉ちゃん側の問題で、ちよっと、ちゅーは……。

あー……そんなにお姉ちゃんと、ちゅー、したかったのか……？

うーん……困ったな……。

あ、そうだ。唇を重ねるだけなら大丈夫だぞ。

舌を入れたり唾液を送ったりするのは駄目だけど、唇を重ねて押し付けるだけなら……。

それでも……いいのか……？

うん……じゃあ、ちゅー、しよな。変なこと言ってごめんな。

唇を少し湿らせて……。ペチャ……。

目は……閉じた方がいいか？ ん、お前に合わせる。

ん……ん、ん……んんっ、ん、ん、んくっ……んーふっ、ふっ、ん、んん……ん……んふっ、んん、んんっ、ん、ん、んくっ……んっ、んっ、んん……。

はあはあ、はあ……。

コラ、お姉ちゃんの口の中に息をハアハアしすぎだぞ。息でお姉ちゃんを孕ませるつもりか？

んふっ……。

またおちんちんが膨らんできたな。

お姉ちゃんのキスで興奮してくれたんだな。嬉しいぞ。

でも、流石にこれ以上お漏らしするのは辛い^{つら}だろ。三回も出したんだもんな。

んー？ まだいける？ まだお姉ちゃんにおちんちん弄って欲しいのかあ？

そうか、おちんちん^{さみ}寂しいんだな。

おちんちん撫でられるの、気持ちいいもんなあ。幸せだもんなあ。ずーとお姉ちゃんにおちんちん構って貰いたいんだな。

よしよし。甘えんぼさんめ。

おちんちん、さつきより柔らかくて可愛いな。フニフニ。

じゃあ、亀さんを触るのはもうやめにして、おちんちんの皮ごと、優しくこすろうな。

あんまり激しくして、おちんちん痛くなったら可哀相だもんな。

この状態で射精するのも、本当にお漏らししてるみたいで気持ちいいぞお。

ゆ〜っくりシコシコして、白いおしっこドロ〜って漏らしちゃおうな。それでタマタマの中、空っぽにしちゃおうな〜。

でも、出そうになかったら、無理に出さなくても大丈夫だぞお。

ただこうやっておちんちん握ってるだけで、気持ちいいだろ〜？

その気持ちよさを味わえたら、それで充分だからな。大丈夫大丈夫。

シコ、シコ、シコ、シコ、シコ、シコ、シコ、シコ、シコ、シコ。

んー？ ちゅーしたい？

よしよし。ちゅーしながらシコシコしてやるぞお。ほら、もっと抱きついていいぞ。

んっ、んんっ、ん……んふ、んふ、んん……んっ、んん……しゅき……
ん……しゅきい……ん、ん……んふう、んっ、んん……しゅき、しゅき
……しゅき、ん、んふ……。

ぴゅっぴゅするう？

ん。ちゅーしながら、ドロ～って出して、いいぞ。

ん、んん、んっ……しゅき、しゅきしゅきしゅきい……あっ……。

射精ポイント

出てる……ん、んふう、んふう、んん……んっ、んっ、んん……
ん、ん、んん……んん……ん……んくっ……。

はぁ、はぁ……はぁ……気持ちよかったか？

おちんちんいっぱいぴゅっぴゅして、疲れちゃったろ。よしよし。

このまま眠るか？ ん、いいぞお。お姉ちゃんが、ずーっと抱っこしてやるからなあ。

……大好き。

トラック 10… ★エリス パンツを一緒に穿いたままセックス

エリス…

だから、昨日のあれは、ただの演技だったと言っているだろうが。

あれはデータを取る為の手段に過ぎんだからな。もうやらんぞ。同じことを繰り返す必要はない。

それよりも、今日もしつかり精子を充填^{じゅうてん}してきたんだろうな。

もし勃起しないようなことがあれば、尿道に綿棒をぶっ刺して無理やりエレクトさせてやるからな。

ほら、さっさと始めるぞ。早く終わらせてこのヒラヒラした服を脱ぎ捨てたい。

ああ、昨日と同じ服だが、それがどうした。

ああ？ 臭そう？ 黙れボケナスちゃんと洗ったわ。

お前が阿呆みたいに眠りこけていたから、私が朝から洗濯して干してアイロ^ンまで掛けてやったんじゃないか。

ったく、何故私がお前の為にここまで気を回さなくてはならんだ……。

まあいい。今日はお前にいいものを見せてやるぞ。

ほら、これだ。

このパンツはな……おい、誰が痴女だ。スカートをたくし上げたぐらいで痴女呼ばわりするな。昨日も散々めくってやっただろうが。

これはな、見た目はただのヒラヒラしたパンツだが、伸縮性に優れた素材で出来た特殊なパンツなんだ。

ほら、こんなに引っ張つてもまだ余裕があるだろ。

という訳で、今日は下半身に身に付けているものを全て脱げ。

どうした、早く脱げ。脱がないと、このパンツを一緒に穿けないだろうが。

お前は女物のパンツが好きだろう。だから一緒に穿かせてやる。

良かったな。こんな機会、滅多にないからな。

エリス様は本当にどうしようもないぐらい天使だなあ？

脱いだか？ 私がパンツを持っててやるから、ほら、入れ入れ。

これは……思ったより密着度が高いな……。

とりあえずおちんちんは私の股の間に挟んでおけ。

こら、モゾモゾするな。お前が動くと、私の体まで引つ張られる。

あ、あ、あぁっ。

あたた……動くなと言うのに。

ベッドの方に倒れてよかったな。

んっ、んう……そんなにがつつり抱きつくな。今日は甘えさせてやらないんだからな……。

ん、んっ……おい、誰が腰を振っていいと言った。

いや、まあ、その為に私のパンツに入らせてやった訳だから、別にいいんだが……。

ただ、その顔が……スケベな表情で腰をへこへこ押し付けてくるのが気に食わん。いやらしいにも程がある。

んっ、ん、ん……股の間でおちんちんをこするのがそんなに気持ちいいのか？

まだ挿入していないのに、セックスしているようにしか見えんぞ。

なんだあ？ 私をセックスがしたくて堪らないのか？

フッ、本当にお前は

んっ！ んんっ！ こら、キスは、んっ……キスはあ、ん、ん……なにを勝手に……んっふうっ、ふうっ……ん、ん……ん、んむ……んくっ……。

はあはあ、はあ、はあ……。

こらあ、キスは駄目だって言っただろうがあ……勝手なことをするなあ……。これからセックスをさせてやるんだから、キスぐらい我慢しろ。

あ？ 好きだから我慢できない？

フ、フンツ。私のことが好きなら、なおさら我慢しろ。

私はお前のことなんて、好きでもなんでもないんだから……。。

そんなふうには抱き締めて頭撫でたって、誤魔化されないんだからなあ……。。

くっ……まあ、舌は入れずに唇を押し当てるだけのキスだったから……。辛うじて許す……。

おい、腰を振るのは構わんが、そんなに大きく振ると……。。

その……お前が腰を引く度に、パンツが引っ張られて私の尻に食い込んでくるんだが……。

お前はこれが気にならんのか……？

いや、私は尻に食い込むのがすごく気になるんだ……。馬鹿、尻まで開発済みのお前と一緒にするな……。

腰を振るなら小刻みに振れ、小刻みに。

んっ……そうそう、最初からそうしろボケナス。

ハイハイ、もつとふともでおちんちんを締め付ければいいんだろ。

……随分気持ち良さそうだな。

そうか、お前はおちんちんに意識を集中させているから、尻の食い込みなんか気にならないのか。

あ？ 私もおまんまんに意識を集中させればいいだ？

黙れ、そのような稚拙^{ちせつ}な言葉責めで私を手玉に取れるとでも思ったか。なんと浅はかな。

大体、意識ひとつでそこまで感じ方を変えられるほうがおかしいんだ。

私をお前のような単細胞と一緒にす……

んっ、ん、ん……んうっ、あんっ……。

んっふうっ、あふ……ちよ……ちよっと待て、ん、んあっ、ああ……。

か、感じてなどいない……ん、ん、んふ、ふざけるな……。

くっ……この程度の刺激など、んう、んふう、あうう、こんなの、ん、やんっ……お前に言われなければ、気にならなかったのに……。

ちよ、待ってくれないか……ん、あ、あん、や、やめ……腰をヘコヘコするなあっ……ううう……パンツの所為で動けん……。

これは、ん、んう、ちゃんとした目的があつて、んっ、んん、やつてることなんだからなあ……うっ、うふあっ……うわあんっ……。

んっく……なにが可愛いだ、心にもないことを……やめろ、言うな。

可愛い要素など何一つないだろうが……私に可愛げがないことぐらい、自分でも分かっているんだ……。

だからそれを補う為に、あんな甘ったるい演技をしたり、こんなエロいパンツを用意してやったんじゃないかあ……。

ううう……尻に食い込む……。

はあ、はあ、はあ……。

んあ？ もう挿^ちれたいのか？ うむ……挿入せねば埒^{らち}が明かんからな……。

私が腰を引いて挿れてやるから、そのままじっとしてろ。

おい、素股でこんなにカウパーを出したのか。変態チンポめ。

ん？ 私か？ いや、私は濡れていない。

黙れ、濡れていないと言っているだろうが。

……あー困った、この乾燥具合ではとても挿入できんな。そうだローションがあつたんだ、ローションを塗ろう、こんな時の為のローションなんだからな。

はー、よかった。ローションがなければ激痛に悶え死んでいたところだ。

コホン……ところで、本当に挿れていいのか？

私は構わんが、お前はどんなんだ。

リリフローラの事が気にならないのか？

昨日から私とこのような行為に及んできた中で、リリフローラの事には一切触れてこなかったが……全く意識しなかった訳ではあるまい。

お前にとって、リリフローラはなんなんだ。ただのセックスの道具か？

いや、そういうのはお前達の問題だからな。私にとってはどうでもいい。

ただな……

その扉の向こう側で、リリフローラが聞き耳を立てていることに気付いているか？

私は先程から気付いていたんだが、黙っていた方が面白そうだったんでな。ククッ。

リリフローラはセクサロイドだからな。あいつからしたら、この状況は、私に御株を奪われたようで面白くないんじゃないか？

ちなみに、セクサロイドの聴覚は人間よりも優れているからな。この会話も、聞こえているかもしれないぞ。

フッ……安心しろ。もしお前達二人の關係に亀裂が入ったとしても、いくらでも修復は可能だ。

リリフローラは機械なんだぞ。記憶を弄って、都合の悪いことは全て忘れさせてしまえばいい。

そういえばお前は、女の膣に挿入するのはこれが初めてだったか？

このまま私のマンコに挿れていいのか？ どうなんだ？ 駄目なのか？

ほらほら、お前がはつきりしないから、亀頭がマンコの入り口でクチュクチュすれて、嬉しそうに膨張しているぞ。

まさかお前、マンコの入り口で先っぽをクチュクチュされて焦^じらされるのが気持ちいいから、わざと煮え切らない態度をとってるんじゃないだろうな。

フッ……変態め。

変態。変態。変態。

本当に、どうしようもない変態チンポだな。

この変態チンポは、穴があれば何でもいいんだろう？

節操の無いチンポだな。

こんな愚劣なチンポは、ゴムで保護せずに剥き出しのまま私の中に挿れてやる。

んー？ 生は嫌なのか？

駄目だ、生で挿れるぞ。

余計なものを装着したら、感度が鈍って正確な技量を測れんだろう。

おちんちんがビクビク震えて、亀頭の先から何か出そうだなあ？

んー？ 何が出るんだ？ まさか精子を吐き出すんじゃないだろうなあ？

マンコの入り口でおちんちんを甘く咥えているだけで？

今射精したら、折角の純粋なマンコが、お前の薄汚い精液に塗^{まみ}れてしまうぞ。

フッ……

ん、ん、ん……。

ほおら、全部挿った。

このパンツを穿いている所為で、互いの腰が常に密着しているからな、一旦挿れたら、後はずっと挿れっぱなしだぞ。

まるで、パンツと一緒に前のおちんちんを装着してるみたいだな。

あ……あつ、あつ、あああ……はあ、はあ、はあ、んっ、はあ……。

腰を引くと、おちんちんが膣ちつをねぶりながら抜けていって……。

んっ……んくっ、あ、あ、あ……あ、あああ……はあ、はあ、んっ。

腰から力を抜くと、おちんちんが膣壁ちつかべを搔き分けて、マンコの奥に戻ってくる……。

んっ、んっ、ん……。

ほら、お前も腰を引いていいぞ。腰の力を抜くと同時におちんちんが引き込まれていく感覚は、きつと気持ちがいいぞお？

どうした？ リリフロラの事を気にしているのか？

……しかしな、腰を動かさないと、体がパンツに引っ張られて、おちんちんがマンコにずっぽりはまった状態が続くんぞ。

あ、あ……はあ、はあ、んっ、んんっ……。

抜いたり、戻したり、抜いたり、戻したり。

あ、あ、あああ、あふう、あふう、んっく……。

気持ちいいか？ 生膣なまちつセックス、したくてしくて堪らなかったんだろ？

お前も腰を振って、私の中を搔き回していいんだぞ。

あ、あ、あ……ああつ、あああああ。

積極的に腰を振るようになったじゃないか。

おちんちんが嬉し過ぎて、腰振りセックス、我慢できなくなったか？

ほら、トロトロのマンコをいっぱい掻き回して、一番気持ちいい所を見つけて、そこをおちんちんで何度もこすっていいんだぞ。

あ、あ、あ、あつ、ああつ、ああ、あああ、ああ、ああ、あああ。

んー？　そこが気持ちいいのか？

いいぞお。気に入った所に亀頭を何度も何度もこすりつけて、エッチなカウパーをたっぷりすり付けて、マンコの中にマーキング、しような。

あつ、あつ、ああ、あああ、ああ、あ、あ、あ、あああ。

イキそうになったら、休憩しような。マンコの一番奥で、おちんちん、休憩しような。

はあ、はあ、はあ……はあ……私の中は……気持ちいいか？

おちんちんを奥まで突き入れて、腰をゆっくりグラインドさせて、膣内をグリグリ掻き回していいからな。

こうやって、おちんちんを膣壁にぴったり密着させて、グリグリ、グリグリ。エッチな涎を垂らしたおちんちんが、トロトロマンコの中をねっとり舐め回すところをイメージして、腰を回そうな。

ん、んう、んつ、んつ、んはあ……。

グリグリ、気持ちいいなあ？　力を抜いて、マンコの一番奥で、好きなだけリラックスしていいぞ。

はあ、はあ、はあ……はあ……はあ……。

ん、んん、んつ、んう、んつ。

生膣を舐めるようにこすってカウパーをピュッピュするのは、気持ちいいか？

私の中で、好きなだけ気持ちいいこと、していいからな。

あ、あ、あんっ……ああ……。

ほらほら、涎が垂れているぞ。そんなに気持ちよかったのか？

んー？ 私か？ ……私の事はいいんだ。そういう事を訊くな。
んっ、ん……やんっ……気持ちよくなかったら、こんなエッチな声、出ない
だろ……。

射精感が収まってきたら、また腰を引いて、出し挿れ、しような。

ヌチヨヌチヨのおちんちんとマンコを密着させて、ヌコヌコ出し挿れ、しような。

あっ、あっ、ああっ、あああっ、ああ、あ、あ、あああ。

スカートの中心に入れて私の体を掴んで、思い切り腰をヘコヘコしていいんだぞ。

あ、あ、あ、あ、ああっ、ああっ、あんっ、ああっ、はっ、はあんっ。

エロい触り方だな。私の体はお前のオモチャじゃないんだぞ。

女の子パンツを穿いたまま腰を振って、パンツ越しに私の体を弄るのは、
気持ちいいか？

初めてのセックスが、こんな変態プレイでよかったなあ？

手の平と下半身で、好きなだけパンツの感触を堪能するがいい。

ほら、お前の尻もパンツ越しにさすってやるぞ。

こうすれば肌とパンツがこすれて、もっと気持ちよくなれるだろ。

尻にはこんなに可愛い女の子パンツを穿いているくせに、前からはこんなグロテスクなおちんちんを伸ばして……。

変態め。変態チンポめ。私のパンツと膣に包まれてカウパーをダラダラ垂れ流してる変態チンポ。

ほら、変態チンポをもっと突き入れろ。

あ、あふ、あふう、あああ、ああっ、ああっ、あんっ。

おちんちんが一番気持ちよくなる所を何度も突いて、マンコの中をカウパー塗^{まみ}れにしてしまえ。

なまあた生温かい性器から透明のいやらしい液体が垂れて、パンツに滲みているぞ。

あつ、あつ、あはあつ、あんつ、あんつ、あ、あ、あああつ。

もうそろそろ我慢の限界か？

そうだな。我慢汁、いっぱい出てるもんな。

いいぞ。中で出していいからな。

んー？ 射精する時は、キスしながら、好きって言われながら出したいのか？

もう……しようがないな。

お前は本当に、どうしようもない甘えんぼだな。

んっ……ん、ん、ん、好き、好き……大好き……んっ、ん、ん、いいぞ……ん、ん、いっぱい出していいからな……ん、ん、ん、ん、好き、好き、好き好き好き、好きだから生で出して、んっ、んっ、ん、ん、ん、出して、出して、出して、んっ、好きだよ

射精ポイント

ん、んんんっ！ んっ！ ん、ん、ん……好き、好き……んっ、ん、ん、好き、好き、好き、好き、好き、大好きい……。

はあ、はあ、はあ……こら、出し過ぎだぞ……。

気持ちよかったか？

ん、そうか。

トラック 11 に続く

トラック 11… 内緒の内証

トラック 10からの続き

エリス..

はあ、顎が疲れた。喘ぐ演技も楽ではないな。

おい、リリフローラはまだ扉の向こう側に張り付いているようだ。

私達のセックスは、快楽の為ではなく他に目的があつての行為だと、リリフローラに伝わるように話を合わせろ。

それとも、この事を忘れさせる為に、本当にリリフローラの記憶を弄っているのか？

これでお前のセックスに関するデータは充分だな。ご苦労。

まあ、私は全く気持ちよくなかったが、客観的に見れば問題はないだろう。

射精感はある程度自分でコントロールできるようだし、射精した後には勃起を継続させることも……そういうえば、木蓮の花言葉は持続性だったな。

木蓮にはな、それとは別にもう一つ花言葉があるんだ。

もう一つの花言葉は、自然への愛だ。

お前は……セクサロイドに愛情は芽生えると思うか？

まあ黙って聞け。何もロマンチックな話をしようという訳ではない。

セクサロイドの感情について、少し気に掛かることがあつてな。

今回はお前の技量を測るという名目でセックスに及んだが、それと同時に、セクサロイドの愛情をはかる目的もあつたんだ。

セクサロイドは基本的に、人間に対して嫌悪感を抱くことはない。

要するに、誰にでもいい顔をするんだ。

その方が、セックスを行うにあたって都合がいいからな。相手に愛されていると感じながら交わった方が、快感を得やすいだろう。

セクサロイドの存在意義はセックスだ。それはセクサロイド自身も自覚していて、より良いセックスを行動指針として定めている。

本能、と言ってもいい。セクサロイドにとって、セックスの快感を高めることは、本能に基づく行為なんだ。

だから、セクサロイドがセックスの相手に対して抱いている好意的な感情が、単にセックスの効果を高める為のものなのか、それとも純粋な愛情なのか、判別するのが難しい。

で、その好意的な感情を今回のセックスで焙り出して、どちらに傾くのかを見定めようと思つてな。

セクサロイドの愛情をはかると言つたが、なにもリリフローラの愛情をはかった訳ではない。セクサロイドは他にも沢山いるからな。

リリフローラの型式番号が、E-02^{かたしき}だろう。

その前に作られた、E-01の事を言っているんだ。

E-01、それが私の型式番号だ。

お前はリリフローラを初めて見た時、私の顔に似ていると言つたな。

同じシリーズだからな、似ているのも当然だ。

フツ、どうした。セクサロイドの私がセクサロイドを作るのはおかしいか？
作り方さえインプットされていれば、セクサロイドがセクサロイドを作ることも可能だ。

組み立てに関しては、むしろ人間よりもセクサロイドのほうが向いているんだぞ。機械は精密な作業が得意だからな。

何故今まで黙っていたかって、お前は元々どこの馬の骨とも知れん奴だし、そんな奴にわざわざ自分の弱みを教えるはずがないだろう。

まあ、しばらくお前を観察してきて、お前がただの馬鹿だということが分かったからな。馬鹿に弱みを教えたところでなにも出来んだろう。

それでだな、セクサロイドである私は、お前に対して、ある感情を抱いていたんだ。

その感情がどういったものなのか、それを調べるために性行為に及んだ。

この感情は、やはり先ほど言ったような、セクサロイドに備わった本能的なものだったようだ。

お前と性行為に及んでいる間、私は常に理性的な思考を保っていたからな。感情を刺激されるようなことは一切なかった。

キスを拒んだのも、私がセクサロイドだからだ。

私は口から燃料以外の異物を取り込むと、動作不良を引き起こす。

人間の体液も異物だからな。舌を絡めるようなキスは、相手の唾液が体内に入り込んでしまう。

フツ……キスもできないセクサロイドなんて、滑稽だろう。

ちなみに、私の体から排出される体液は、全て燃料だ。燃料を体液に見立てている。

だから、自分の唾液であれば、飲み込んでも問題はないという訳だ。

燃料を体液に使い回すというのも気味の悪い話だが、この燃料は人体に対しても無害だからな。色々と都合がよかったんだろう。

一般的なセクサロイドは、口から入った人間の体液を体内に溜めておいて、セックスが終わった後で取り出して処分するような構造になっている。

ただ口から入ったものが管を通過してゴミ箱に到達するだけだから、味覚機能も備わっていない。

しかし私を作った人間は、どうしてもセクサロイドに食事をさせたかったようだな。

はじめは、口から取り入れた異物を燃料に変換する方法を考えていたようだが、どうしても不可能だったんだろうな。

結局、口から燃料を入れて味覚を刺激するという、今の形に落ち着いたようだ。

その所為で、キスができないセクサロイドという歪いびつなものが出来上がった訳だ。

リリフローラがそういう構造になっているのも、私の中にインプットされているセクサロイドの作り方が、それしかなかったからだ。

私を作った人間は、異物を燃料に変換する構想を、あとから実現するつもりだったんだろうか。フツ、馬鹿な話だな。

と、まあ、そういう訳だ。

長々とつまらんことを話してしまったな。

しかし、事情をしっかりと説明しておかないと、お前が変な勘違いを起こしちゃうだったからな。

昨日からのやり取りは全て演技だ。くれぐれも、私の演技を真まに受けて引きずったりするなよ。

よし、ご苦労だった。もう行っていぞ。

おい、リリフローラはまだ……。

……あー、待て。ベッドのシーツを替えたい。このシーツを剥がして持って行け。

……よし、もう行っていぞ。

トラック 12…リリフローラ怒りのちりめんじゃこ

リリフローラ…

……別に怒おこってません。

なんであたしが怒おこつてると思うんですか。怒る理由がありません。

昨日きのう、あなたとドクター・エリスがイチヤイチャしてたことですか？

なんでそんなことであたしの顔かお色いろを窺うかがうんですか。変ですよ。

別にイチヤイチャしてたっていいじゃないですか。ドクター・エリスも、あたしと同じセクサロイドなんですから。

あなたが好きな方ほうを使つかえばいいんじゃないですか。

あなたはやっぱり、ドクター・エリスみたいな頼たのりになる大人の女性が好きなんですよ。

あたしはドクター・エリスとは正反対の子供っぽいセクサロイドですから、無理にあたしを使つかわなくてもいいですよ。

一人じゃ頼たのりなくて、味があるのかどうかも分からない、こんな……チリメンジャコのような女……。

ドクター・エリスは凄すごいですよ。自分もセクサロイドなのに、あたしを作つくり上げたんですから。

頭あたまいいです。あたしとは違います。

ドクター・エリスは誰たれが作ったんでしょうね。

そういえばドクター・エリスは、よく寝言さびでマグノリアがどうか言いってますけど、マグノリアってなんでしょうね。

昨日なんか、寝言さびで寂さびしそうに何度も呟さぶいてましたよ。

大方、ドクター・エリスを作った人間の名前かなんかじゃないですか。知りませんけど。

ドクター・エリスは、マグノリアとかいう人をあなたに重ね合わせてあんなことをしたんじゃないですか。知りませんけど。

フンツ……。

……すみません。

こんなこと、思っても口に出さない方がいいって分かってるんですけど、なんか、嫌な考えが次々に湧いてきて……。

頭の中が濁って、処理の仕方が分かんなくて……。

どうしてこんな……こんな醜い感情が湧いてくるんでしょうか……こんな、セックスには必要ないのに……。

あの、お願いがあるんですけど……。

今日は、あたしと……セックス、して貰えませんか。

今までは手とか足で済ませちゃってて、その、あたしの中に挿れたこと、ないじゃないですか。

別に挿れるのを避けてた訳じゃないんですけど……いえ、あの……本当のこと言うと、ちよつと避けてました。

初めの頃は、ただ挿れるタイミングを逃してただけなんですけど、なんか、段々怖くなってきて……。

もしセックスで満足して貰えなかったら、申し訳が立たないというかなんというか……。

あたし、どんくさいから、上手くないことが色々あるんですけど、そういうのはなんていうか……あたしは元々、そういう色々な事をこなす為に作られた訳じゃないから、上手くないかなくても当然だって思ってた部分もあるんです。

でも、セックスだけは……。

うー……やっぱりやめましょう、今日は……。

こんなウジウジした奴とエッチなことしても、楽しくないでしょう……。

……なんですか、この汚いの。

あ……これ、あたしがあげた輪ゴム……。

まだ持ってたんですか……捨ててください、汚いから……。

……何やってるんですか、そんなもの口に入れたら臭いし汚いですよ。

それ、あたしが一回舐めた後でベッドの裏に落として、ホコリまみれになったんですから……。

……んふつ、なんなんですか、その顔。自分で口に入れたくせに。

ほら、もういいですから。吐き出して。

……何回見ても汚いですね、これ。

んふつ……えへ、えへへへ。

やっぱりしてもいいですか、セックス。

トラック 13 に続く

トラック 13 .. ★リリフローラ キスしながらだいしゅきホールド

トラック 12 からの続き

リリフローラ ..

大丈夫です。ちょっと怖いけど、でも、うれしーです。

あたし、あなたとセックスするの、本当は楽しみにしてたんです。

野菜でも挿^いれて予行演習しようかとも思ったんですけど、やっぱり最初に挿れるのはあなたのおちんちんがいいから、ずっと我慢してて……。

こんなスケベな女、嫌ですか？ えへ。

それじゃ、あの……ここに挿れて貰えますか？

^{なま}生でいいですよ。

というか、生じやなきやヤです。

んっ……ん、ん、んくう……んはっ、はあ。

おちんちん、にゆるってしてます……にゆるって……んっ、ふう。

んっ、あ、あ……気持ちいいです。

やっぱり野菜とか、挿れなくてよかった……おちんちん、きもちー……。

はあ、はあ、はあ……おまんこ、あなたのおちんちんの形に合うように、クチクチュしてください。

あっ、あう、あ、あ、はあ、はあ、う、うああ……きもちー……。

あの、マズイです。

まだ挿れたばかりなのに、お股ゾクゾクして、訳分^{わけ}かんなくなりそうです。

あたしが上になって、ゆっくり動かしても、いいですか？

じゃあ、上から覆い被さりますから……ん、んう、んっ……重かったら、吹っ飛ばしてくださいね。

あっ……ん、ああああ……。

あん……あん……あん……あん……はあっ、はあっ……んっく。

今の腰の動き見られたら、すごい恥ずかしいと思うんで、見ないでください……。

上からおちんちん挿れたら、おまんこの中でニユルってこすれる感触がよく分かって、なんだか、すごくおちんちんです。おちんちんですこれは……。

あなたも、おまんこの感触、分かりますか。

あたしのおまんこ、ちゃんとおまんこでしょーか。

やんっ……あ、あ、あう……あうう……んっ、んっ。

手、握ってください……指も絡ませて……。

んっ、はあ、あ、あ、あ、きもちー……はあ、はあ、はあっ、おちんちん、きもちー……。

手、ぎゅって握って、スリスリしてください。

あ……ああん……気持ちいい……。

肌すり合わせるの、好きです。

両手の指、いっぱい絡ませてくれたら、おちんちんのほうもいっぱいクチュクチュして、気持ちよくなりますから……。

はあ……幸せ……。

おちんちんクチュクチュ、これぐらいの速さで大丈夫ですか。

はい、あまり速くしたら勿体無いから、これぐらいで……。

おちんちん気持ちいい……。

ゆっくり腰動かしてたら、おちんちんにゆるって挿^こってくるのが、よく分かるんです。

んん、ふう、ふう、はっ、あ、あん、あん、んあ、うああ、ああ、あ、あ、あ、あ、ん、んん……ちんちん、おちんちん、おちんちん……。

おちんちんの先っぽ、クチュクチュしますね。

ん、あ、あんっ……あ、あんっ……ん、んっ……。

おちんちんの先っぽでおまんこがゆーって拡げられて、気持ちいいとこ擦^{こす}ってきます。

気持ちいい……おちんちん気持ちいい……。

あ、手の握り方、やさしー……。

これ、セックスですよ？ あたし、ちゃんとセックスできてますか……？

あつ、はあん……はあはあ、あ、ああつ、あふう、あう、はあ、はあ……セ

ックス、セックスう……生々^{なまなま}セックス、きもちー……。

はあ、はあ、顔、近いですね。

あの、一つ、やってみみたいことがあるんですけど……その……ちゅー、してみたいです。

あたしの体の中に人間の唾液が入ったら動作不良を引き起こすって、知ってますけど……でも、どうしてもやってみたいんです。

もし変な感じになったら、もう二度とやりませんから……。

お願いします……壊れてもいいから、あなたと、ちゅー、したいです。

舌絡ませて、ペロペロ、したいです……。

駄目ですか……？ 駄目ですよ……壊れたら面倒ですもんね……。

んあつ！ んっ、ん、っあん、あ……

ん、はむ、ちゅ、ちゅ、ちゅう、ん、ちゅばちゅば、ん、んちゅ、ちゅうちゅう、ん、んあ……あむ、あむ、んちゅう……んふ、ん、んふう……ちゅ、ちゅばちゅばちゅば、ん……んちゅ……んふう、んふう、あむ、あむ、あむ……んはあ。

はあ、はあ、はあ……ちゅー、きもちいい……んあー、きもちいい……ちゅー、もう一回……ちゅー、ちゅーするの……。

はむ……ん、んんっ、ちゅ、ちゅう、ちゅばちゅばちゅば、んふう……はあ、はあ……んはっ、ちゅ、ちゅ、ちゅうう、ちゅうちゅう……ちゅうちゅう……あむ、あむ、ちゅ、ちゅ、ちゅ……んはっ。

はあ、はあ……幸せ。

ちゅー……気持ちいい……。

んっ……んん……ちゅばっ、んう……ちゅっ、ちゅばっ、はあ……ちゅっ、ん……ちゅ、んっ、んっ……。

ちゅーしながらおちんちんニユポニユポするの、さいこーれす。

きもちいい……。あ、大丈夫れす、気持ちよすぎて変になってるらけなんれ……。

じゅる……すみません、涎が……。

あたし、おまんこがトロトロになったら、涎も一緒に出るのかも……。

おまんこ、すっごいトロトロ……おちんちんとおまんこのほうも、ちゅー、してるみたいですね。

手、スリスリしてください。

はあ、はあ、はあ……ああ、ちゅ、ちゅ、んちゅ、ちゅ、ん、ちゅ、んっ、ちゅっ……んああ、気持ちいい……あむ、ちゅばちゅば

あ、ああ……幸せすぎるう。

手え握ってちゅーしてパンパンするの、気持ちよすぎます。気持ちよすぎて、あたし、爆発するかもしれません……。

はあ、はあ、はあ、あつ、あんっ、あん、あ、あ、あ、ああああ……あふう。

どうしたんですか？ ミルク、出そうなんですか？

いいですよ。一回中で出しちゃいましょーね。

無理に我慢しなくても、出したくなったら、中で好きなだけ出していいですよ。

手え握って、ちゅーしながら、ぴゅっぴゅしましょーね。

ん、んちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅ、あむ、あむ、ちゅっ、ちゅううう、ん、ちゅぱちゅぱ……あ、あ、あ、

射精ポイント

あつ、出てる、ちゅ、ちゅぱ、ちゅ、中で、んちゅ、ちゅ、チンポミルク、出てるう……ん、んちゅう、ちゅ、ちゅ、ん……ぴゅっぴゅ、そのまま、ぴゅっぴゅ……あむ、ちゅぷちゅぷ、んっ……あむ、んあ、んふっ、んふう……ちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅううう。

んああー……はあ、はあ、はあ、あはあ……おまんこの中、あった温かいミルクでいっぱい……。

このまま、ぎゅーって抱き締めてください。

おちんちんがまた元気になるまで、あたしを抱き枕にしてリラックスしてください。

はあ、はあ、はあ、はあ、おちんちん、挿れたままでいいですからね。挿れっぱなしで、ぎゅーって、しましうう。

こすれて痛くならないように、じっとしてますから。

まだおちんちんの中にミルク残ってたら、ぴゅっぴゅって、出しちゃっていいですよ。

はあ、はあ、はあ……んっ、んんっ……あ、出てるの分かります……おまんこの中で、とろとろって、ミルク漏れてる……………。

全部あたしの中に吐き出していいですよ……よしよし。

んっ、んあ、ん、ん、やんっ……おちんちん、ピクピクしてるう……。

じつとしてなきや駄目ですよ。あんまりモゾモゾしたら、おまんこに力入って、中でおちんちん締めちやいますよ……。

ひやうっ……おちんちん、中で硬くなってる……もう元気になったんですか……えへ、嬉しい。

じゃあ今度はあなたが上になって、おちんちんでおまんこに、いっぱいちゅーしてください。

ん……んっ、んっ、無理、しなくていいですからね。

ゆっくり出し入れして、またミルクがのぼってくるの、待ちましょーね。

んん……んはあ、んう……。

あたしもあなたに合わせて、腰、動かしますから。

二人でエッチなお汁、いっぱいぴゅうぴゅうしましょーね。

んっ、はあ、はあん、うあ、あ、あ、あつ、あふう。

ぎゅってしたまま、ちゅー、したいです。ハグちゅー。

あと、舌も入れてください。舌舐め合って、お口の中もペロペロ、したいです……エッチでごめんなさい。

んゆ……ちゅ、ちゅぶ、ちゅぶ、ちゅ……つぶえ、んちゅう……れろ、れろ、れろお、ん、はあん……ちゅばちゅば、ちゅうう。

ぎゅってして貰いながら、べろちゅーするの、きもちー……。ちゅー、だいしゅき……。

体くっつけてスリスリして、体中で、エッチなちゅー、しましょう……。

はむっ、あむ、んっ……れろれろ、れろ、あっはあ……あむ、ちゅ、ちゅる、ちゅる、れろれろ、んはあ、はあ……じゅぷじゅぷ、ちゅ、ちゅううう、きもちいー……はあはあ、きもちー……ん、んん、ちゅばちゅばちゅば。

はあっ、はあ、はああ……あん、んう……いっばいペロペロされた……はあはあ、幸せ……。

あの、脚をあなたの腰に回して絡ませていいですか。

あんまりくっついたら邪魔ですか？

いいんですか？ あは、やった。

あっ、あ、あ……はあう、う、うああ、あ、ああ、あっはあ、はあ……んっ、んひゃん、ん、やん……はあ、はあ。

体くっつけるの、きもちーです。

あなたの好きなふともも、あなたの体に密着させて、いっばいスリスリしますね。

んっ、ふっ、はあっ、ああ気持ちいいです……うあ、あうっ、ふあああっ、あっ、ん……。

腕も背中にまわして、おっぱい押し付けて、フニフニしますから。

あんまりおっぱいおつきくないから、目いっばいぎゅーって押し付けます。

だからあなたは、おちんちんを動かすことだけ考えて、腰を振って、おちんちん、いっばいヌコヌコしてくださいね。

はっ、はっ、あっ、あ、あはっ、気持ちいい、気持ちいい、んっ、気持ちいいよお。

うああ……これ、いい、しがみつきセックス、だいしゅき……んっ、しゅきい……。

腰振って、ふとももをふとももにこすりつけて、スリスリしてえ……あ、ああ、気持ちいい……内もも、きゅんきゅんして、気持ちいい……スリスリ、スリスリ、スリスリ……んはあ……んっ、んっ、ああん。

んっ、んっ、んは、はあ、はあ、あっ、あっ、あっ、あっ。

奥までおちんちんが、奥まで、にゆるーって……やあん……。

さつきから奥ばっかり、奥ばっかり突いてえ……やだあ、エッチい……子宮狙ってグリグリするの、ずるいですう……なんでそんなに奥ばっかりい、もお、エッチい……。

あ、あたしが脚で腰引き寄せてるからか……えへ、えへへへ。

はあ、はあ、んふう……おちんちん、さつきよりも膨らんでませんか。

おまんこの中でおつきしたんだ……おつきいおちんちん、しゅごいきもちー……。

お口寂^{さび}しいです……ちゅーしたいです……ちゅうー……。

れろ、れろれろ……んっ、ふっ、あっ……舌、出して……ちゅ、ちゅぷ、ちゅぷ、ちゅぷ、ちゅぷ、あっ……あっ……口の中いっぱいペロペロして……ん、んっ、チュ、ちゅ、ちゅぷちゅぷちゅぷちゅぷ、ちゅ、ちゅう、んっ、はあっ、あ……好き、好き……ちゅ、ちゅぷちゅぷちゅぷ、ちゅ、ちゅ、ちゅ。

ふう、ふう、ふう……息、荒いですよ。ちゅーで興奮したんですか？

はあ、はあ、だったら、腰、激しく動かしていいですよ。

はあ、はあ、あたしも顔、熱くて……はあ、はあ、もっと気持ちいいの、欲しいです。はあ、はあ、はあ。

あなたのおちんちんで、いっぱい、突いて欲しいです。

あなたの腰の動きに合わせて脚で腰を引き寄せますから、おまんこの一番奥まで突き入れてグリグリしてください。

気持ちよくぴゅっぴゅできるように、おちんちん、いっぱい押しつけていいですよ。

あたしの一番エッチなところに、おちんちん、押しつけてくださいね。

あっ、はあ、気持ちいい、気持ちいい。

んくっ……。気持ちよすぎて、涎が……。んくっ……。お口もおまんこもぐちよぐちよだ……。

はあはあ、あっあっあっあっ、うはあ、気持ちいい……。はふ、はふ、ん、もつと、強く、ぎゅって抱き締めてください。

腕を背中にまわして、ぎゅっぎゅって、何度も抱き寄せてください。体の間に隙間があつたら、寂しいです。

んっはあ、あ、あんっ、あっあっあっあっ、あんっ、あっあっ、いいっ、気持ちいい。

はあはあ、これ、さいこー……。

ふとももいっぱいこすれて、気持ちいい。

ふとももの体温、いっぱい感じてください。

二人でいっぱいこすって、ふうふう、同じ体温にしましょう。

はあはあ、顔も、くっつけていいですよ。顔も、スリスリして、匂い、嗅いでいいですから。

ん、あ、あふ、ふ、ふう、んっあ……。あったかくて、きもち……。

くっついてるとこ、全部気持ちいいよお……。

頭ぼーっとしてきました……。頭の中、とろとろお……。

顔、あんまり見ないでください……。緩んじやって……。んくっ……。涎も止まんないし……。

んくっ……。やだ、エッチな顔、見ないでください……。

恥ずかしいけど、でも、しゅごい気持ちいい……。

ん、ん、やんっ……。ぴゅっぴゅ、したいんですか？

……。うん、いいよ……。

一番奥で、エッチなミルク、ぴゅーって、出していますよ。

気持ちよすぎて涎止まんないから、ちゅーでお口塞いで（ふさいで）ください。腰の動き止めるまで、ずっとちゅーしてて欲しいです……。

あむ、れろお……ちゅちゅ、ちゅぱ、あむ、んっ……好き、好き……れろれろれるろ……あむ、ちゅちゅちゅぱちゅぱ、んふう、好き、好き好き好き……好き……ちゅ、ちゅるるる……んっ、ん、んっ、んう、大好きい、

射精ポイント

んんんっ！ んーっ！ んーっ！ んはあっ、ちゅぷちゅぷちゅぷちゅぷ、ちゅっ、ちゅうううう……んっ……んふう、れろ、れろれるろ、ちゅ、ちゅうちゅうちゅう、ちゅぱちゅぱ……。

つぶはあ……はあ、はあ、はあ、はあ……気持ちよかったあ……ドロドロのミルク、溢れるぐらい出してくれたんですね。お腹のほうに垂れてきてあったかいです。

はあ、はあ……あの、セックスの最中さいちゆうは怖くて訊けなかったんですけど……その、あたしとのセックス、気持ちよかったですか？

……えへえ……えへへへへ。

……このまましばらく抱きついていいですか。

はあ、はあ……はあ……。

トラック 14… 木蓮

エリス…

なんだ、まだ起きていたのか。

私はまだ、リリフローラのメンテナンスの途中だ。

思ったより長引きそうなんだ。少し休憩しに戻ってきたんだ。

……この間のアレ、やはりリリフローラの耳に届いていたようだな。

あの一件以来、リリフローラが私に対してよそよそしい態度をとるようになってな。

メンテナンス中もずっとそんな具合なんだ。参ったよ。

ん……。

待て、今確認する。

私には敵が多いと言っただろう。念の為に、周囲にセンサーを仕掛けておいたんだ。

そのセンサーに反応が……。

結構な数の人体反応がこの家に向かって直進している……組織の連中か……。

おい、歩きながら話そう。

まずは地下のメンテナンスルームへ向かうぞ。

メンテナンス中はリリフローラの運動機能を停止してある。それを起動した後、リリフローラを連れて、この家を離れるぞ。

組織の奴らは、人を人とも思わぬ極悪非道な連中だ。できれば相手をしたくない。

心配するな。あの距離と移動速度なら、まだ到着までに余裕があるはずだ。

ん……ああ、そうか、お前の足枷を外さねばならんな。

枷の鍵は……厳重に保管しているから、少し厄介だな。

よし、鍵は私が取りに行く。お前は一足先にリリフローラの元もとへ向かえ。

リリフローラの運動機能を起動するだけなら、お前にも出来るはずだ。

この通信機を持って行け。追って指示を出す。

ああ、丁度いい。この薪割り用の斧も持って行け。丸腰よりは幾分かマシだろう。

じゃあな、リリフローラを頼んだぞ。

リリフローラ…

あ、こんばんは。

珍しいですね、あなたがこの部屋に来るの……。

……え、この家いえを出るんですか？

あ、えっと、運動機能を起動するには、そのモニターを見ながらキーを操作して貰えれば……。

はい、あたしは体を動かせないので、お願いします。

あ、ああ……鎖が……あなたの足に付いてる鎖がピンと張って……ちよつと長さが足りないみたいです。

私のことは後回しで大丈夫ですから、ドクター・エリスのところへ行つて、先にあなたの鎖を外してください。

エリス…

聞こえるか？ そちらの様子はどうだ。

ふむ。では私が鍵を持ってそちらへ向かう。お前はその場で待機。いいな？

いや、お前はその場に留まる^{とど}ほうが都合がいい。

その部屋には、家の外へ通じる抜け道があるからな。奴等が家の中に侵入してきたとしても、その抜け道を通れば、奴等の目にとまることなく脱出できるはずだ。

リリフローラ..

あ、この家の構造のことなら、全てあたしの中にインプットされています。

エリス..

ああ。だから、私がそこに辿り着きさえすれば……。

クッ……奴等が家の中に侵入したようだ。思ったより早いな。

今すぐその部屋の扉を閉めて鍵を掛ける。

扉の下に僅かな隙間があるだろう。そこに鎖を通せば扉を閉められるはずだ。

いいか、私が行くまで絶対にその扉を開けるんじゃないぞ。

一旦通信を切る。以上。

リリフローラ..

すみません……あたしの所為でこんなことになって……。

あ……その斧で鎖を切れませんか？

あたしの左側にある壁が剥がれるようになってますから、ドクター・エリスが到着したら、そこを通って家の外に出てください。

もし侵入者に見つかったら、あたしのことよりもあなたが逃げることを優先してください。

運動機能の起動には、1分から2分程度の時間を要します。

あたしのことは本当に、十分な余裕があったらいいです。

大丈夫です。あたし、セクサロイドですから。

結構頑丈だし、壊すのも一苦労だから、あたしなんか見つけても、いちいち相手にせずに放っておくんじゃないでしょうか。

それに、今のあたしは運動機能だけじゃなくて体の神経も遮断してますから、何をされても肉体的な痛みは感じません。

だから、あたしのことは気にしないでください。

……やっぱり駄目みたいですね、鎖……。

ハッ……。

エリス..

聞こえるか。

鍵はなんとか取り出せたが、侵入者の数が多くて身動きが取れない状況だ。そちらはどうだ？

ッ驚いたように息を漏らす……外側から扉を叩かれたのか？ そうか……。ッつう……。うつ、く……。いや、連中と接触した時に少しな……。

大丈夫だ、今は身を隠しているからな……。

ああ、なんとか振り切った……。

すうー……。ふうー……。

気にするな、大したことはない。

フッ……。機械に痛覚があるのも、考えものだな。

隙を見てそちらへ向かうつもりだが、万が一私が辿り着く前にメンテナンスルームの扉が破られた場合の対策を伝えておく。

奴等は、私を生かしたまま連れ帰りたいと考えているはずだ。

だから、奴等がお前達の姿を目の当たりにしても、お前達がドクター・エリスでないと確認するまでは、無暗に手を出さないはずだ。

幸い、私の情報は奴等に殆ど漏れていない。

奴等は私の性別すら把握していないはずだ。私がセクサロイドであることもな。

先ほど奴等と接触した際、奴等はまず私を威嚇してきた。

私はその威嚇攻撃でたまたま傷を負ってしまったんだが、奴等は私を傷つける意思がなかったらしく、私の具合を気にする素振りをみせていた。

しかし、私の人工皮膚の下側にある骨格を見た途端、態度を一変させて、躊躇なく攻撃をくわえてきた。

金属の骨格を見て、私のことを、ドクター・エリスが作ったロボットだと思っただろう。

それでだな、ここからが重要なんだ。よく聞け。

お前達が奴等に追い詰められてどうしようもなくなった場合は、お前がドクター・エリスを名乗れ。

そうすればお前の命は助かる。

それで状況が好転する訳ではないが、とにかく生きてさえいれば、いずれ逃げ出すチャンスも訪れるはずだ。

いいか、エリスという人名は、男女両方に用いられる人名だ。だから男のお前が名乗っても不自然ではない。

お前に足枷が付いている理由も、いくらでも誤魔化しようはある。

足枷の鍵は、セクサロイドの私がつけているからな。その足枷は、セクサロイドとのプレイの一環とでも言うっておけ。

この家に住んでいる人間は、お前一人だけなんだ。お前がドクター・エリスであると奴等に信じ込ませるのは、そう難しいことじゃない。

お前が助かる為の条件が揃っているんだ。黙って私の指示に従え。
出来ればリリフローラも助けてやりたいが……それは余裕がある時の話だ。
今は状況が違う。

人間とセクサロイドの命、どちらを優先すべきか……こんな簡単な問題、お前に分からはずはないと思うがな。

私はただ……理性的に考えて、私達にとって最善の方法を選択しただけだ。

まあ、それは飽くまでも、最悪の状況に陥った場合の話だ。

なに、まだ活路^{かつろ}はある。私が鍵を持ってお前た

リリフローラ…

あつ……。

ドクター・エリス……。

あの……ドクター・エリスの言う通りにしてください。

あたしもドクター・エリスが言ったことに賛成します。あたしも口裏を合わせますから、きつとうまういきます。

あのですね、ドクター・エリスがああいう風に言いにくいことをはっきり言ってくれて、あたし、ホッとしてるんです。

だから大丈夫です。あたしは本当に、自分が壊れることなんて全然怖くないんです。

それよりも、あなたやドクター・エリスが酷い目にあったり居なくなったりすることのほうが……。

ドクター・エリスは大丈夫でしょうか……。

あの、出来れば……あなたの命が助かった後で、ドクター・エリスを連れて二人で一緒に逃げてください。

……すみません。ずるいですよね、あたし……自分じゃ何も出来ないのに、頼ってばかりで……。

この音、なんでしょうか……？

ハッ、扉の方から……。

んっ、んくっ。

大丈夫ですよ、大丈夫、大丈夫……。

あたし、ちゃんとやりますから。

ん……どうしたんですか……？ 足に何かあるんですか？

も、もしかして、自分の足を……何考えてるんですかつ、やめてくださいいっ。

無理ですっ、そんな斧で切れるはずがありませんっ。

それに、足を切ったら歩けないじゃないですか。血も出るし、傷口から雑菌が入って死んじゃいますよっ。

運動機能、って……そんな、あたしのことなんてどうでもいいんですっ。

そんなの……あたしの為に自分の足を切るつもりなら、絶対にやめてください。嫌です。

そんなことされても全然嬉しくありません。苦しいだけです。やめてくださいい。

やめてくださいいっ。

あたしの気持ち、知ってるくせに……あなたのこと好きなの、知ってるくせに……。

あたしのことが好きなら、やめてください……。

やめて……いや……いや……いや……。

いやっ！

あ、あ、あああ……。

だ、大丈夫なんですか……？

足、繋がったままですね……血も、出てない……よかった……。

お願いします……もう、やめてください……。

ドクター・エリス！ 無事だったんですね……。

エリス..

フンッ、私を誰だと思っている。

あのような雑兵ぞうひょうがいくら束たばになったところで、所詮私の敵ではないわ。

リリフローラ..

侵入者は……？

エリス..

皆殺しにしてやったわ。

リリフローラ..

え……？

エリス..

無暗に血生臭い話を持ち出してお前達を不安がらせるのもどうかと思ってな。
片かたが付くまで黙っていたんだ。

リリフローラ..

ドクター・エリスが殺したんですか？

エリス..

ああ、一人残らずな。

リリフローラ..

そ、そうですか……。

あの……その……侵入者を殺し終えるまで、ドクター・エリスがこの部屋に
来なかったのは何故ですか？

エリス..

お前達が居ても足手まといになりそうだったからな。

どうした、リリフローラ。もう侵入者は居ないんだ。何も心配なくていい
んだぞ。

リリフローラ..

すみません、変なこと訊いて……。

でも、なにか……おかしいような……。

エリス..

こんな状況だ。そう感じるのは無理もない。

私もあまり余裕がなかったからな。

リリフローラ..

あの……やっぱりおかしいです。

ドクター・エリスなら……皆殺しなんて無駄の多い方法をとらないような気が
します……。

余裕がなかったなら尚の事、身動きがとれない私達を先に逃がそうとしてく
れたんじゃない……。

あ、すみません。助けて貰う立場なのに、こんな偉そうなことを……。

エリス..

リリフローラ、私のことは私自身が一番よく分かっている。私の行動は至って自然だ。

リリフローラ..

あたしだって、ドクター・エリスのこと、少しは分かります。

今まで一緒に暮らしてきて、ドクター・エリスがどういう人かってことぐらい、分かってます。

だから、らしくないところも分かるんです。

エリス..

勝手なことを言うな。

それに、私が私らしくない行動をとったからといって、それがなんだと言うんだ。

リリフローラ..

最近のドクター・エリスは、なんていうか……あたし、最近のドクター・エリスに違和感を感じてたんです。

その違和感の原因がなんなのか、ずっと気になって……。

ドクター・エリスは……もしかして、嘘をついてるんじゃないですか？

ドクター・エリスが嘘をついてるなんて、今まで考えもしませんでしたけど、でも、そう考えるとしつくりくるような……。

エリス..

フツ、勝手なことをズケズケと。

まるで、感情が無かった頃に戻ったかのような、配慮に欠ける口ぶりだな。

まあいい、話を聞いてやろう。私がどのような嘘をついたと言うんだ。

リリフローラ..

あたしが気になっていたのは、あたしの口から異物が入り込むと動作不良を引き起こす、ということです。

エリス..

それが嘘だと？

リリフローラ..

いえ、それは本当だと思います。

あたしが初めて食事をとった際、食品に見立てた燃料ではなく、本物の食品の方を口に運んでしまい、それが原因であたしは動作を停止したみたいですから。

あの時、あなたもドクター・エリスと一緒にあの場に居ましたよね？ 今あたしが言ったことに間違いはありませんか？

……そうですか。やっぱり本当みたいですね。

エリス..

本当ならば、問題はないだろう。

リリフローラ..

本当だからおかしいんです。

あたしはあの時以外にも、異物を飲み込んだことがあります。

この方がかたこの家いえに来てまだ間もない頃に、この方の精液を飲みました。

あたしが動作不良を起こす原因となった食品よりも、より多くの量の精液です。

それに、あたしはこの方とキスをして、この方の唾液を沢山飲みました。

なのに、動作を停止するようなことは一切ありませんでした。

何故動作不良を引き起こさないのか、ずっと気になってたんですけど、あまり深く考えずにそのまま……。

ちゃんと考えればよかったんです……もっと早く気付いていたら、この方だって、あんなに苦しい思いをして斧を振り下ろさなくても済んだのに……。

エリス…

つまり、どういうことなんだ？

はつきり言ったらどうだ。

リリフローラ…

この方は、人間ではなく、セクサロイドです。

セクサロイドは、体内に蓄えられた燃料を体液として放出します。

だから、あたしがこの方の精液や唾液を飲んでも、動作不良を引き起こさなかったんです。

エリス…

何を言い出すかと思えば。

フツ、馬鹿馬鹿しい。

リリフローラ…

ドクター・エリス……もうやめましょう、こんなこと……。

すみません、あなたもいきなりこんなこと言われて、訳が分かりませんよね。

でも、そうとは思えないんです……。

足、見せてください。

大丈夫ですか？ 痛くありませんか？

……あ、やっぱり……。

エリス..

この男の足がどうしたんだ？

リリフローラ..

ドクター・エリス……本当のことを言ってください……。

この方の足……斧を振り下ろして裂けた皮膚の下に、金属の骨格が見えています……。

それから……ドクター・エリスは、セクサロイドではなく、人間ですよね……。

エリス..

なんだ、そこまで分かっていたのか。

リリフローラ..

あたしが動作を停止した時に食べた食品は、ドクター・エリスのお皿に載っていたものですから……。

ドクター・エリスがセクサロイドなら、あの時、あたしと同じものを……食品に見立てた燃料を食べていたはずですよ……。

エリス..

ふむ、正確な記憶力に論理的な思考、機械だけのことはあるな。

いいだろう、実験は現時点をもって終了とする。

確かにこの男は、私が作ったセクサロイドだ。

リリフローラ..

ドクター・エリス……どうしてこんなことを……。

エリス..

私が嘘をついていた理由を、順序立てて説明してやる。^だ

まず、侵入者など最初からどこにも居ない。全て私の狂言だ。^{きようげん}

そして、E-01は、私の型式番号^{かたしき}ではなく、この男の型式番号だ。

フラッシュバック 1

どうした、E-01。窓の外になにかあるのか？

ああ、あれは木蓮という花だ。あれが気に入ったのか？

確か木蓮の学名は、マグノリア・リリフローラと言って……丁度いい、お前に人間のような名前をやろう。マグノリアでいいだろ。考えるのが面倒くさい。

ここまで

フラッシュバック 2

おい、勝手にクローゼットを開けるな。

この服か？ これはスカートが無暗にヒラヒラしていて私の好みではない。

だから一度も着たことがないし、これからも着ることはないだろう。

あ？ 今日はこれを着ろと？ これを着てセックスしたいのか？

フン、馬鹿馬鹿しい。

うぐ……そんな目で見るな……。

……一回だけだぞ。

ここまで

フラッシュバック 3

今日も甘えさせて欲しいのか？

フン、お前は自分の立場を弁^{わきま}えていないようだな。

何故この私が、セクサロイドであるお前の好みに合わせてやらねばならんだ。

うぐ……またそんな目を……。

あーもう、しょうがないな、やればいいんだろ。

ここまで

フラッシュバック 4

フツ……安心しろ。もしお前達二人の關係に亀裂が入ったとしても、いくらでも修復は可能だ。

リリフローラは機械なんだぞ。記憶を弄って、都合の悪いことは全て忘れさせてしまえばいい。

ここまで

「アハ、いつだったかお前が畏に掛かった時、私はお前の命を助ける代わりに、お前を実験体にすると言っただろう。」

実験の内容をまだ伝えていなかったな。

実験の題材は、お前達セクサロイドの愛情だ。

人間の慰み物であるお前達に、果たして自然な愛情は芽生えるのか。

セクサロイドは、常にセックスをする相手のことを考えて活動している。生まれた時から人間に依存している。つまり存在自体が不自然なんだ。

だからセクサロイドの愛情を確かめるには、まず、自分がセクサロイドであるという自覚を失くさせる必要があった。

私はHX-01の記憶を操作して、自分を人間だと思い込ませた。

そんなお前がHX-02とどのような関係を築き上げるのか、それを観察していたんだ。

結果、HX-01は人間だと思い込んでいる自分よりもセクサロイドであるHX-02の命を優先し、HX-02は自分の中で膨らむ恐怖心を押し殺しながらHX-01の身を気遣い、自分の命を顧みる素振りかえりそぶを一切見せなかった。

いや、見事な愛情のぶつけ合いだ。

お前達はお似合いのカップルだよ。ククッ。

リリフローラ..

……なんですか、その言い方。

エリス..

ああ、スマンスマン。セクサロイドにも怒りの感情があったことを忘れていたよ。ハハハ。

リリフローラ..

何の為にこんなことをしたんですか。

エリス..

これ以上の理由などない。単なる好奇心だ。

リリフローラ..

嘘です。ドクター・エリスは理由もなくこんな酷い事をする人じゃありません。

エリス..

だからなあ、そういう印象を抱かせる為に、最初からそういう人間を演じていたんだ。

そのほうが色々と事を運びやすいからな。

リリフローラ..

嘘です……本当のことを言ってください……。

今のドクター・エリス、すごく無理してます。嘘ついてるの、分かりますよ……。

あたし、ドクター・エリスのことが好きです……だから、どんな事情があっても、全部受け止めます……。

エリス..

歪^{いびつ}な人間モドキの愛情など要らんわ。気持ち悪い。

その愛情も本物かどうか怪しいもんだ。ただ人間に媚びているだけじゃないのか。

リリフローラ..

違いますよ……どうしてそんなに強情なんですか……。

エリス..

フンッ。HK-01、お前はどうかんだ。

自分がセクサロイドであるという自覚を持った今、自分の中の愛情を信じることができるか？

お前はセックスのことしか頭にない愚かなセクサロイドだからなあ？

お前達が互いに抱いている愛情も、どうせ歪な愛情だろう。

リリフローラ..

歪いびつで……歪で何が悪いんですか！

どんな形でも、愛情は愛情です！

本物とか偽物とか、そんなの、どうだっていいじゃないですか！

訳の分からない理屈ばかり捏ねて、距離作って、遠くから勝手なこと言うて！

本当はちゃんとあるのに、近寄ろうとしないから見えないだけじゃない！
馬鹿っ！

ふう、ふう、ふう……ふう……ふう……。

エリス..

フツ……お前達にとってはどうでもいいことなんだろうな。存在自体が不自然なお前達にはな……。

私は、お前達とは違うんだ。

リリフローラ..

ドクター・エリス……。

エリス..

もうお前達に用はない。

最後の慈悲だ。足枷を外し、運動機能を起動してやる。

二人でここから出て行け。あとのことは知らん。スクラップになろうが人間の慰み物にされようが知ったこっちゃない。

リリフローラ..

馬鹿……。

エリス..

あ？

リリフローラ..

馬鹿……アホ……強情女……。

ごうじょうおんな

エリス..

フツ……。

リリフローラ..

……このまま行けば、もうすぐ町に着きます。

大丈夫です。この辺り一帯の地図は、あたしの中にインプットされてますから。

今日は風が強いですね……。

あ、花びらが……綺麗な色……。

……これ……木蓮の花びらです。

今年はもう、あの時に咲いたはずじゃ……。

ちよっと待ってください、情報呼び出します……木蓮は春先から春にかけて開花する。開花期間は三日程度。みっか開花期間を過ぎた花は散ってしまうが、夏に返り咲くさことも珍しくない……だそうです。

あ、でも、咲いてないものもある……。

……咲いてるのも咲いてないのも、同じ木蓮なんです……。

なんか、自分の中にある情報を探ってみたら、他にも色々インプットされてました。

燃料の調達の仕方とか、仕事の探し方とか、キップの買い方とか……。

あの……ドクター・エリスのこと、悪く思わないであげてください……あの人は器用なフリしてるけど、本当は不器用だから、ああいう形でしか自分の気持ちを伝えることができなかったんだと思います……。

あたし、歩きながら色々考えたんですけど……ちよつと聞いて貰えますか。

今から話す事は、あたしの勝手な想像です。

ドクター・エリスは、あたしを作るより前に、あなたを作ったんですよ。

あなたを作った目的は分かりませんが、ドクター・エリスはあなたと一緒に生活しているうちに、あなたのことを好きになったんじゃないでしょうか。

でもドクター・エリスは、自分の中で湧き起こる気持ちを素直に受け入れることができなかったんだと思います。

あなたがセクサロイドだからです。

ドクター・エリスは、人間が抱く愛情とセクサロイドが抱く愛情は、別物だと考えているようでした。

ドクター・エリスの中にある愛情が膨らめば膨らむほど、不安も募^つったんだと思います。

ドクター・エリスは強情ですから、なにか問題に直面しても、全て一人で解決しようとしています。

だから、あなたの愛情を確かめる為に、あなたの記憶を弄って、セクサロイドであるという自覚を失くしたんです。

ドクター・エリスがあなたの記憶を軽々しく弄るとは思えませんが、そうでもないともうどうしようもないぐらい、自分で自分を追い詰めてしまったんじゃないでしょうか。

多分、あなたの記憶を弄ったこと、すごく後悔してると思います。

で、ドクター・エリスは、わざわざ自分に姿形すがたかたちが似たあたしを作って、あなたと会わせたんです。

ドクター・エリスは自分の事となると本当に駄目な人ですから、あたし達を客観的に観察することですか、ドクター・エリスの言う「本物の愛情」を感じ取るかどうか、冷静に判断できなかったんだと思います。

愛情を試した後のことは……予め考えていたのかわかりません。

もう一度あなたの記憶を弄ってあたしを処分すれば、実験を始める前の状態に戻せたはずですけど、でも、ドクター・エリスはそうしなかった。

それってつまり、あたし達を人間と同等に扱ってくれたってことですよね。

ドクター・エリスは優しいです。だからあたし達のことを気遣って、最後にあんな突き放すような態度を……優しいけど、意地が悪いです。

道具として使う為にあたしを作ったくせに、勝手に人間扱いして、勝手に自分の気持ちを押しつけて……。

あたし、ドクター・エリスのそういう所、嫌いです。

あ……嫌いつていう感情、自己嫌悪以外ではつきりと自覚したの、初めてかもしれません。

こんな時にナンですけど、ちよつと嬉しいですよ……えへ。

あの、あなたは……記憶を弄られる前のこと、全く覚えてませんか？

あ、少し思い出したんですね。

ドクター・エリスは……すごく強情ですけど、でも、すごく無理してたから、あなたが自分の意志でドクター・エリスの元に戻ったなら、多分、あなたを受け入れてくれると思います。

それはあなたとドクター・エリスの問題ですから、あなたが一人で戻らなければいけません。

あたしは……あたしはそれを押しつけるつもりはありません。

このまま町に向かって進むか、逆を向いて家の方に進むか、あなたが自分の意志で決めてください。

大丈夫です。あなたがどちらを選んでも、あたしは嬉しいんですから。ねっ。だから深く考えずに、単純に行きたい方に向かって歩いてください。

あなたはあたしのことを弱い奴だと思ってるかもしれませんが、こう見えて結構強いんですよ。

あたし、強情ですから。えへ。

……それじゃ、あたしは町へ行きますね。

了

※「小説 ※ネタバレ注意」というフォルダに、ストーリー補完用の小説を同梱しております。

※左記のURLで、音声の内容に関するアンケートを実施しております。

※よろしければご回答ください。質問は一通りだけで、二択の選択肢から選ぶ形式です。

<http://votel.fc2.com/browse/26506678/1/>